



令和6年度 市民アンケート実施結果(速報集計)

調査の概要

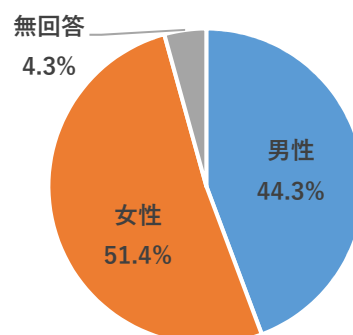
調査設計	◆調査対象 満 18 歳から 74 歳までの鹿角市民	◆実施方法 自治会長等を通じた配付と郵送回収 及び Web 回答
	◆対象者数 900 人	◆調査期間 令和 6 年 4 月 25 日(木)～5 月 7 日(火)
	◆抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出	◆有効回答 469 人 (回答率 52.1%)
調査項目	1.市の政策について 2.運動の実施状況について 3.健康づくりについて 4.医療相談が受けられる環境づくりについて 5.芸術鑑賞について 6.コモッセの利用状況について 7.文化財について 8.大湯環状列石について 9.中心市街地について 10.大館能代空港の利用について 11.カーボンニュートラルについて 12.まちの満足度について	

※ 基数となるべき実数(N)は、設問に対する回答者数です。また、本文中の百分率は少数点第2位を四捨五入しているため、あるいは複数回答のため、数値の合計が 100 にならない場合や複数の項目の数値の合計が本文中の数値と一致しない場合があります。

調査回答者の属性

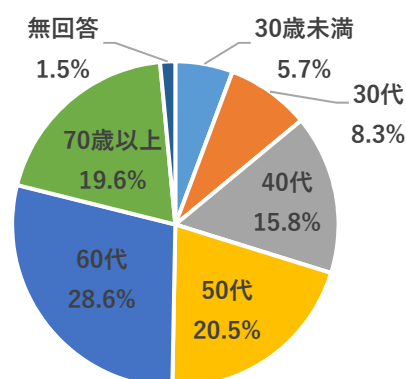
1 性別

区分	回答者数	構成比
女 性	241	51.4%
男 性	208	44.3%
無回答	20	4.3%
計	469	100.0%



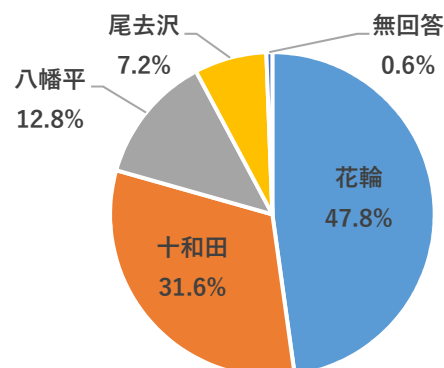
2 年代別

区分	回答者数	構成比
30 歳未満	27	5.7%
30 代	39	8.3%
40 代	74	15.8%
50 代	96	20.5%
60 代	134	28.6%
70 歳以上	92	19.6%
無回答	7	1.5%
計	469	100.0%



3 地区別

区分	回答者数	構成比
花 輪	224	47.8%
十和田	148	31.6%
八幡平	60	12.8%
尾去沢	34	7.2%
無回答	3	0.6%
計	469	100.0%



1 市の政策について

設問2 あなたは、市が進めている取組にどのくらい満足していますか。また、今後のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えていますか。あなたの考えに一番近い番号をそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

【市が進めている取組に対する満足度】

第7次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略目標を達成するために定めた32の取組方針に関連する事柄について、5「満足」、4「やや満足」、3「普通」、2「やや不満」、1「不満」、0「わからない」の中から1つを選択する形式で「これまでの満足度」に関する状況を調査しています。

順位	取組方針	満足度 スコア	回答者の割合						
			満足 (5)	やや満足 (4)	普通 (3)	やや不満 (2)	不満 (1)	わから ない	無回答
1位	ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	3.37	10.2%	25.6%	48.4%	4.9%	3.6%	4.1%	3.2%
2位	心身の健康づくり	3.23	7.2%	21.7%	49.7%	6.8%	4.5%	7.5%	2.6%
3位	衛生的で良好な生活環境の確保	3.18	11.5%	16.4%	46.9%	7.9%	7.7%	6.4%	3.2%
4位	文化財の保存への取組	3.13	4.9%	17.3%	50.5%	7.7%	4.1%	11.9%	3.6%
5位	火災や救急に対する体制強化の推進	3.12	5.6%	14.3%	53.5%	7.7%	3.8%	11.5%	3.6%

市が進めている取組に対する満足度として最も高い評価を得たのは、「ごみの適正処理と資源リサイクルの推進」です。5点を満点として点数化した満足度のスコアは3.37、35.8%の人が満足・やや満足、48.4%の人が普通という評価をしています。

2番目に多く選ばれたのは、「心身の健康づくり」です。満足度のスコアは3.23、28.9%の人が満足・やや満足、49.7%の人が普通という評価をしています。

3番目に多く選ばれたのは「衛生的で良好な生活環境の確保」です。満足度のスコアは3.18、27.9%の人が満足・やや満足、46.9%の人が普通という評価をしています。

4番目は、「文化財の保存への取組」です。満足度のスコアは3.13、22.2%の人が満足・やや満足、53.5%の人が普通という評価をしています。

5番目は、「火災や救急に対する体制強化の推進」です。満足度のスコアは3.12、19.9%の人が満足・やや満足、53.5%の人が普通という評価をしています。

〔参考〕 過去5年間の推移 ※R3より項目の表記を変更

順位	H30	R1	R2	R3	R4
1位	観光の振興	子育て支援の充実	高齢者福祉の充実	ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	ごみの適正処理と資源リサイクルの推進
2位	子育て支援の充実	高齢者福祉の充実	快適環境の創出	心身の健康づくり	心身の健康づくり
3位	健康づくりの推進	健康づくりの推進	子育て支援の充実	文化財の保存	衛生で良好な生活環境の確保
4位	高齢者福祉の充実	観光の振興	水道水の安定供給	衛生的で良好な生活環境の確保	文化財の保存
5位	鹿角ライフの促進	農業生産の振興	健康づくりの推進 消防・救急体制の充実	火災や救急に対する体制の強化 防犯や交通安全の推進	緑と水の映えるまちの環境を守ります

【今後のまちづくりに対する重要度】

第7次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略目標を達成するために定めた32の取組方針に関連する事柄について、5「重要」、4「やや重要」、3「普通」、2「あまり重要でない」、1「重要でない」、0「わからない」の中から1つを選択する形式で「これからの重要度」に関する状況を調査しています。

順位	取組方針	重要度 スコア	回答者の割合						
			重要 (5)	やや重要 (4)	普通 (3)	あまり重要 でない(2)	重要でない (1)	わから ない	無回答
1位	適切な医療を受けられる体制の整備	4.62	65.5%	18.5%	7.0%	0.9%	0.0%	1.7%	6.4%
2位	市民等の意欲のある就労・就農に対する支援	4.41	49.5%	26.1%	11.7%	0.6%	0.2%	5.5%	6.4%
3位	地域産業の成長を支援	4.34	45.8%	25.2%	13.2%	1.5%	0.2%	8.3%	5.8%
4位	地域ぐるみの子育て支援の充実	4.31	49.0%	23.4%	15.1%	1.3%	1.1%	4.3%	5.8%
5位	子どもから青少年までの生きる力を育む	4.24	40.7%	29.4%	18.8%	0.2%	0%	4.5%	6.4%

今後のまちづくりに対する重要度として最も多くの方に選ばれたのは、「適切な医療を受けられる体制の整備」です。5点を満点として点数化した重要度のスコアは4.62、84.0%の人が重要・やや重要という評価をしています。

2番目に多く選択されたのは、「市民等の意欲のある就労・就農に対する支援」です。重要度のスコアは4.41、75.6%の人が重要・やや重要という評価をしています。

3番目は「地域産業の成長を支援」で、重要度のスコアは4.34、71.0%の人が重要・やや重要という評価をしています。

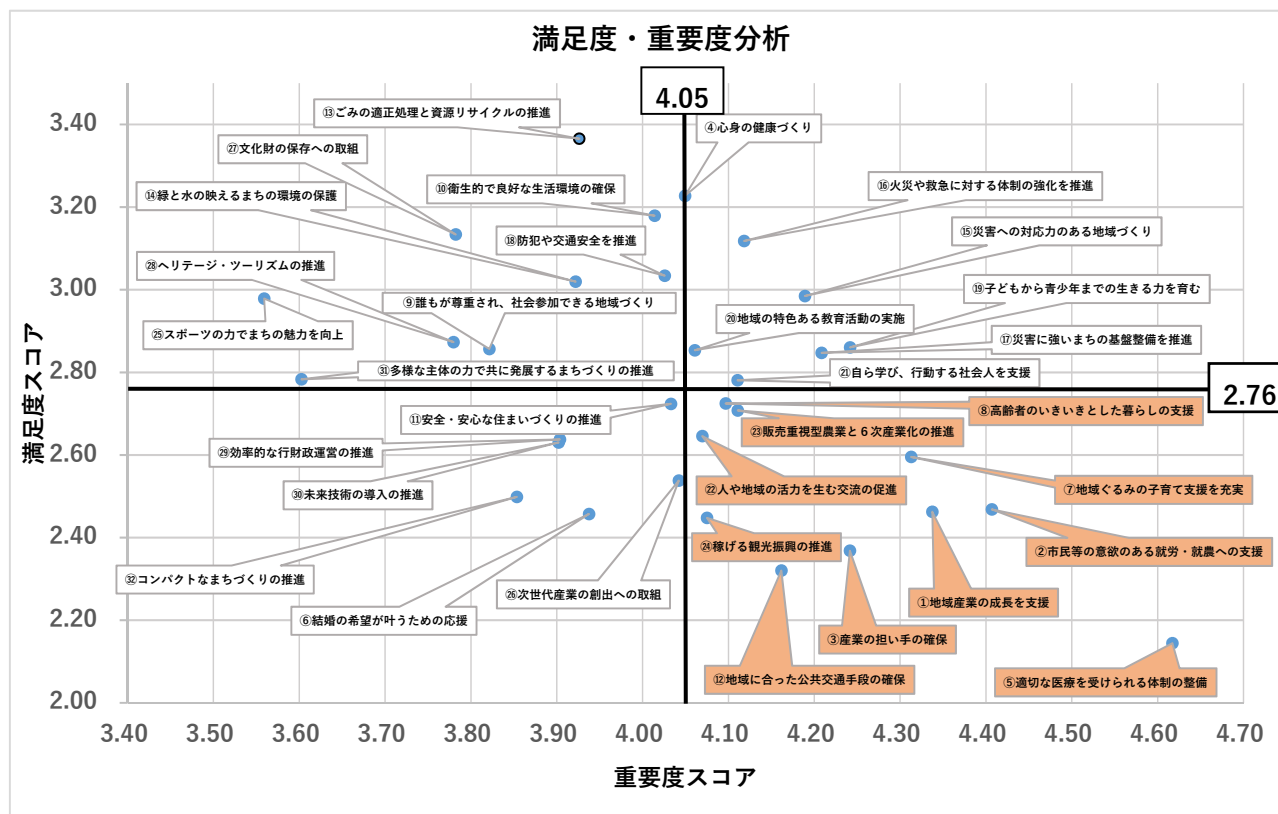
4番目は「地域ぐるみの子育て支援の充実」で、重要度のスコアは4.31、72.4%の人が重要・やや重要という評価をしています。

5番目は「子どもから青少年までの生きる力を育む」で、重要度のスコアは4.24、70.1%の人が重要・やや重要という評価をしています。

〔参考〕過去5年間の推移 ※R3より項目の表記を変更

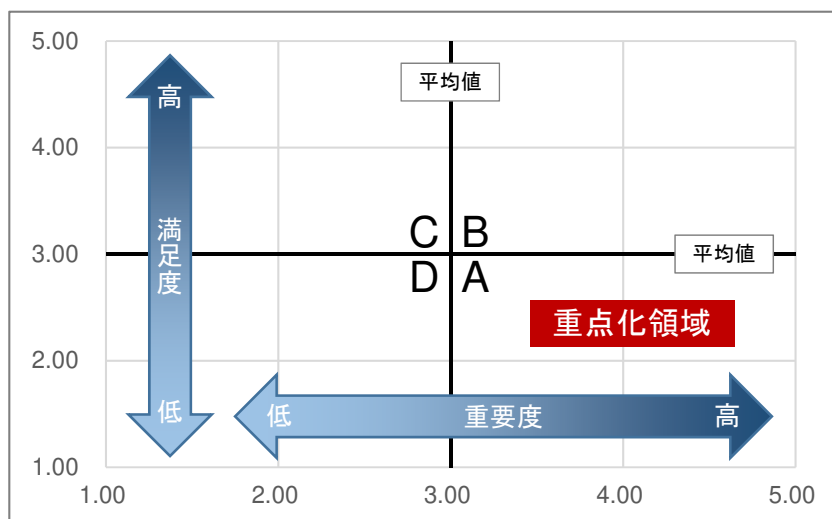
順位	H30	R1	R2	R3	R4
1位	地域医療体制の充実	地域医療体制の充実	地域医療体制の充実	適切な医療を受けられる体制の整備	適切な医療を受けられる体制の整備
2位	商店街の活性化	商店街の活性化	商店街の活性化	市民等の意欲のある就労・就農に対する支援	地域ぐるみの子育て支援の充実
3位	雇用の安定	学校教育の充実	雇用の安定	地域産業の成長に対する支援	市民等の意欲のある就労・就農に対する支援
4位	学校教育の充実	雇用の安定	地域産業の活性化	地域ぐるみの子育て支援の充実	子どもから青少年までの生きる力の育成
5位	地域産業の活性化	市街地の整備	公共交通の確保	子どもから青少年までの生きる力の育成	地域にあった公共交通手段の確保
	公共交通の確保				

【満足度・重要度のクロス分析】



【満足度・重要度をクロス分析する散布図の見方】

本市の 32 の取組方針における「満足度」と「重要度」の回答結果からそれぞれの平均を求め、縦軸に満足度、横軸に重要度を取り、散布図として表しています。散布図では、「満足度」と「重要度」の平均値から 4 つの領域に分けることができ、特に A 領域は市民の満足度が低く、かつ今後のまちづくりにとって重要度が高いと考えている「重点化領域」となり、重点的な改善が求められる分野となります。



満足度・重要度が共に高いのは、「④心身の健康づくり」、「⑮災害への対応力のある地域づくり」、「⑯火災や救急に対する体制の強化を推進」、「⑰災害に強いまちの基盤整備を推進」、「⑲子どもから青少年までの生きる力を育む」、「⑳地域の特色ある教育活動の実施」、「㉑自ら学び、行動する社会人を支援」であり、今後も重点的に取組を継続していく分野といえます。

一方、満足度が低く、重要度が高いのは、「①地域産業の成長を支援」、「②市民等の意欲のある就労・就農を支援」、「③産業の担い手の確保」、「⑤適切な医療を受けられる体制の整備」、「⑦地域ぐるみの子育て支援の充実」、「⑧高齢者のいきいきとした暮らしの支援」、「⑫地域に合った公共交通手段を確保」、「㉒人や地域の活力を生む交流の促進」、「㉓販売重視型農業と6次産業化の推進」、「㉔稼げる観光資源の推進」の10項目でした。

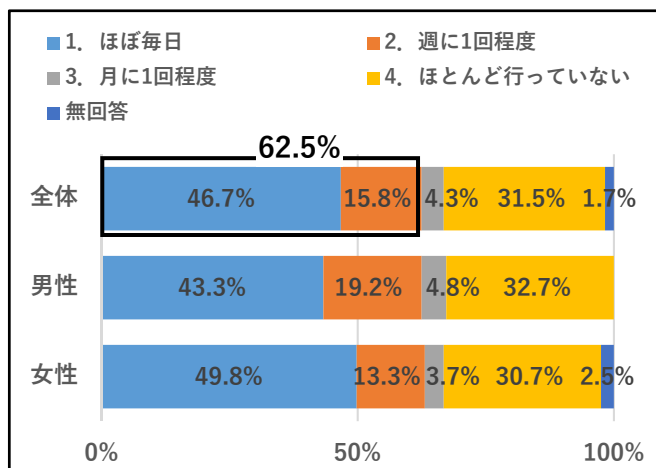
昨年度と同様、市内産業の活性化と就労・就農への支援が重要視されています。地域の特色ある教育活動と市内産業の連携により、人や地域の活力を生む交流が促進されることで、若年層へのアプローチを図り、生産基盤の整備と、産業の担い手を確保することが必要とされています。「⑦地域ぐるみの子育て支援の充実」については、出産に関する環境の整備を求める意見があったほか、子育て政策が不足しているという意見も散見されました。少子高齢化に際し、「⑤適切な医療を受けられる体制の整備」、「⑧高齢者のいきいきとした暮らしの支援」、「⑫地域に合った公共交通手段を確保」については、引き続き医師確保対策や交通手段の利便性向上が求められていると考えられます。

取組方針	満足度		重要度	
	スコア	順位	スコア	順位
①地域産業の成長を支援します	2.46	27 位	4.34	3 位
②市民等の意欲のある就労・就農を支援します	2.47	26 位	4.41	2 位
③市内外から産業の担い手を確保します	2.37	30 位	4.24	6 位
④心身の健康づくりに取り組みます	3.23	2 位	4.05	17 位
⑤適切な医療を受けられる体制を整えます	2.14	32 位	4.62	1 位
⑥結婚の希望が叶うよう応援します	2.46	28 位	3.94	22 位
⑦地域ぐるみの子育て支援を充実します	2.60	23 位	4.31	4 位
⑧高齢者のいきいきとした暮らしを支援します	2.72	17 位	4.10	13 位
⑨誰もが尊重され、社会参加できる地域をつくれます	2.86	12 位	3.82	28 位
⑩衛生的で良好な生活環境を確保します	3.18	3 位	4.01	21 位
⑪安全・安心な住まいづくりを進めます	2.72	18 位	4.03	19 位
⑫地域に合った公共交通手段を確保します	2.32	31 位	4.16	9 位
⑬ごみの適正処理と資源リサイクルを進めます	3.37	1 位	3.93	23 位
⑭緑と水の映えるまちの環境を守ります	3.02	7 位	3.92	24 位
⑮災害への対応力のある地域をつくれます	2.98	8 位	4.19	8 位
⑯火災や救急に対する体制の強化を進めます	3.12	5 位	4.12	10 位
⑰災害に強いまちの基盤整備を進めます	2.85	14 位	4.21	7 位
⑱防犯や交通安全を進めます	3.03	6 位	4.03	20 位
⑲子どもから青少年までの生きる力を育みます	2.86	11 位	4.24	5 位
⑳地域の特色ある教育活動を実施します	2.85	13 位	4.06	16 位
㉑自ら学び、行動する社会人を支援します	2.78	16 位	4.11	12 位
㉒人や地域の活力を生む交流を促進します	2.65	20 位	4.07	15 位
㉓販売重視型農業と6次産業化を進めます	2.71	19 位	4.11	11 位
㉔稼げる観光振興を進めます	2.45	29 位	4.08	14 位
㉕スポーツの力でまちの魅力を高めます	2.98	9 位	3.56	32 位
㉖次世代産業の創出に取り組みます	2.54	24 位	4.04	18 位
㉗文化財の保存に取り組みます	3.13	4 位	3.78	29 位
㉘ヘリテージ・ツーリズムに取り組みます	2.87	10 位	3.78	30 位
㉙効率的な行財政運営を推進進めます	2.64	21 位	3.90	25 位
㉚未来技術の導入を進めます	2.63	22 位	3.90	26 位
㉛多様な主体の力で共に発展するまちづくりを進めます	2.78	15 位	3.60	31 位
㉜コンパクトなまちづくりを進めます	2.50	25 位	3.85	27 位

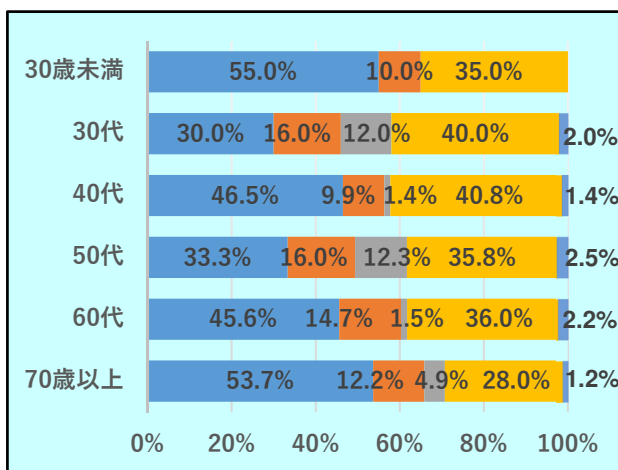
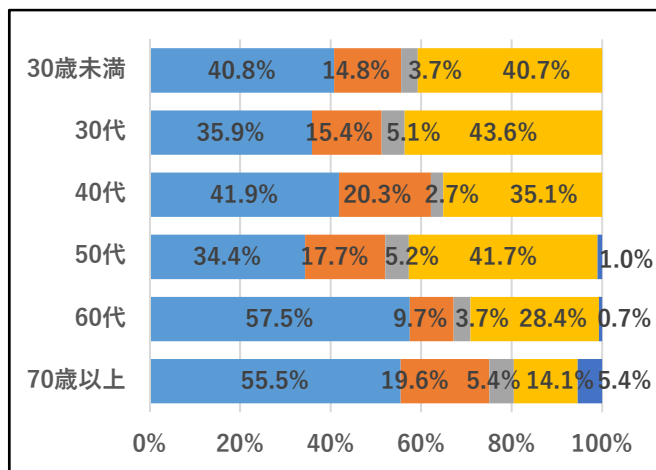
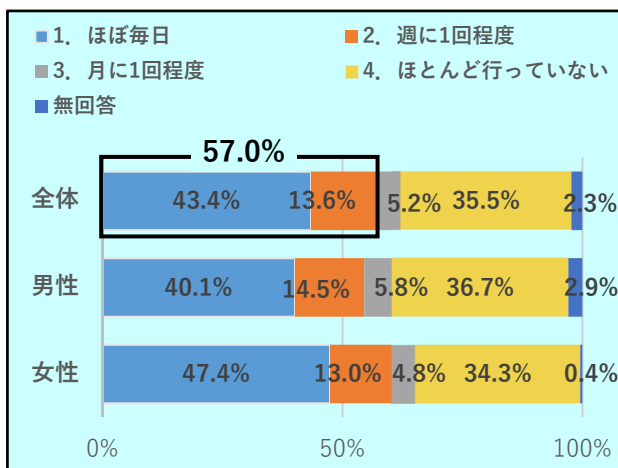
2 運動の実施状況について

設問3 あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。また、1回あたりの時間はどれくらいですか。

R6 市民アンケート結果



(参考) R5 市民アンケート結果

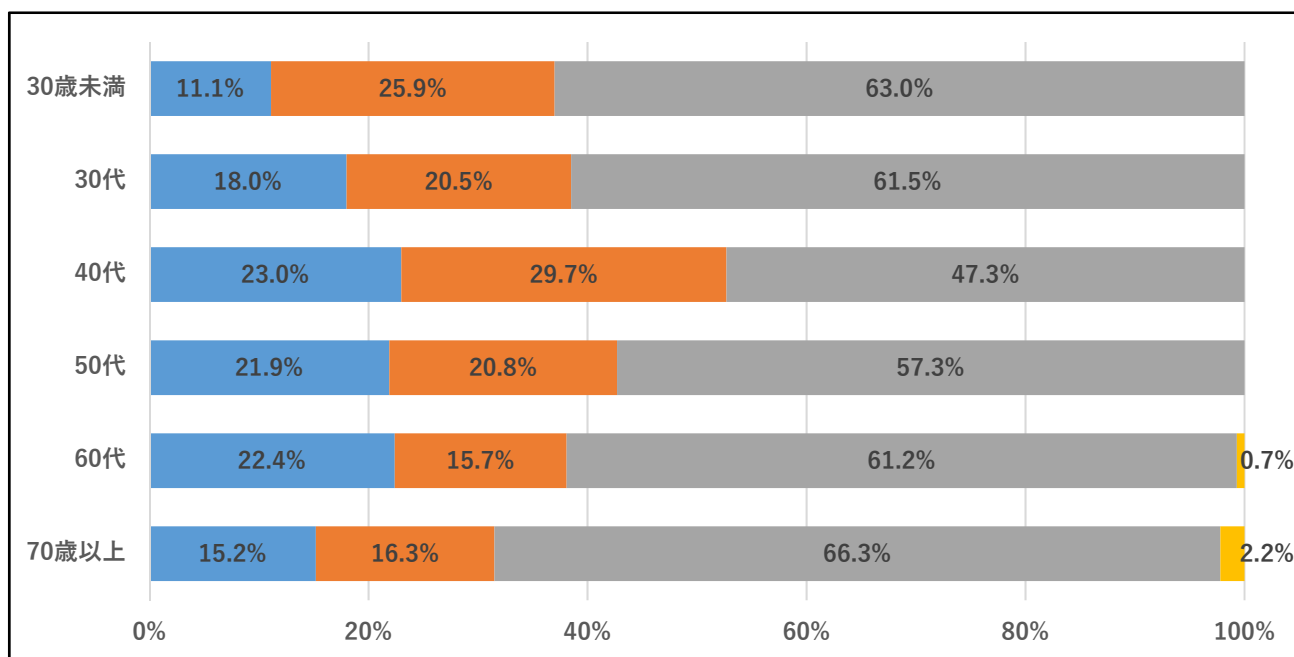
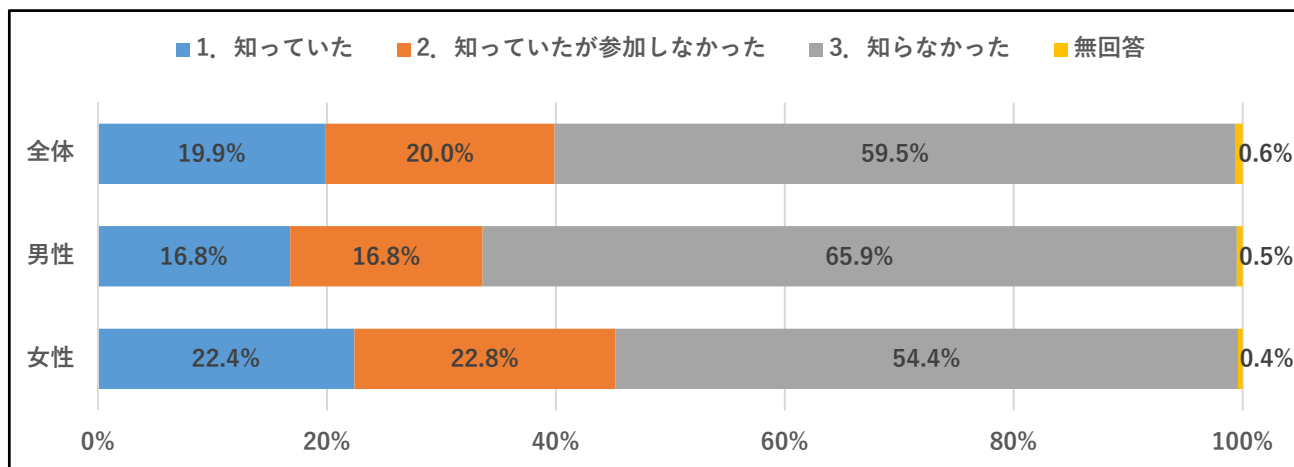


【分析概要】

- ▶ 週1回以上、運動やスポーツを実施している割合は、62.5%と前年を5.5ポイント上回っています。
- ▶ 年代別では、これまで働き盛り世代の実施率が低い状況でありましたが、昨年度と比較して、30代が5.3ポイント増加、40代が5.8ポイント増加、50代が2.8ポイント増加しています。
- ▶ 週1回以上、運動やスポーツを実施している市民の割合は、60%を超えてきており、新型コロナウイルスが5類に移行してから1年が経過し、あらゆる年代において、運動の習慣がついてきたものと思われます。

3 健康づくりについて

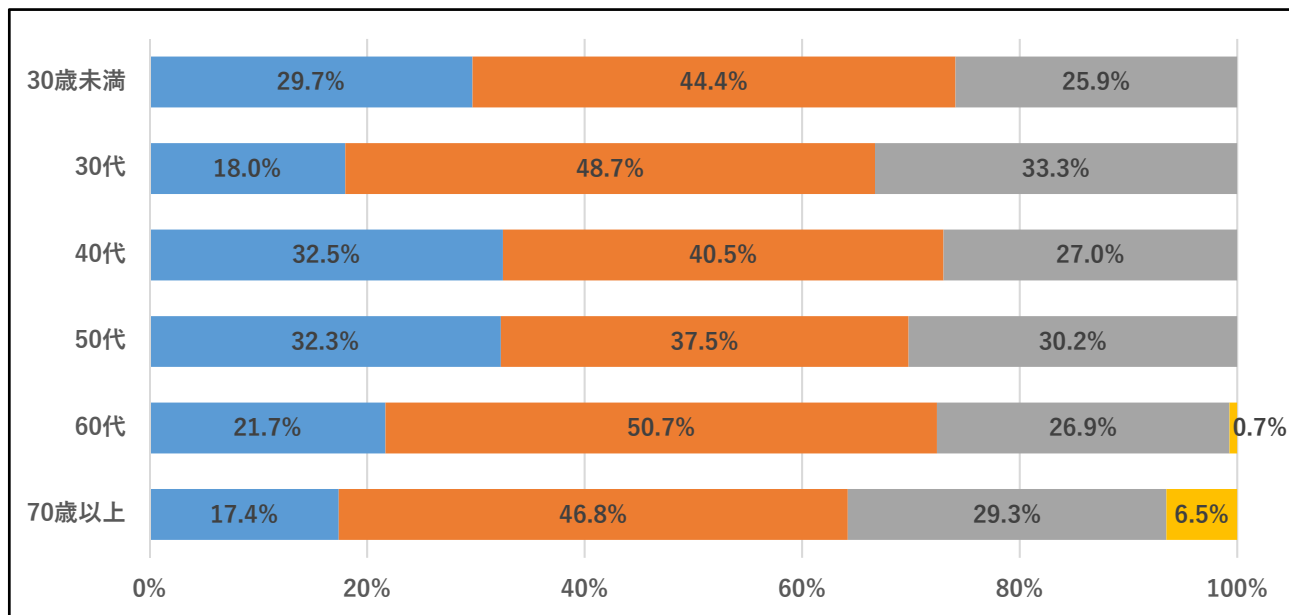
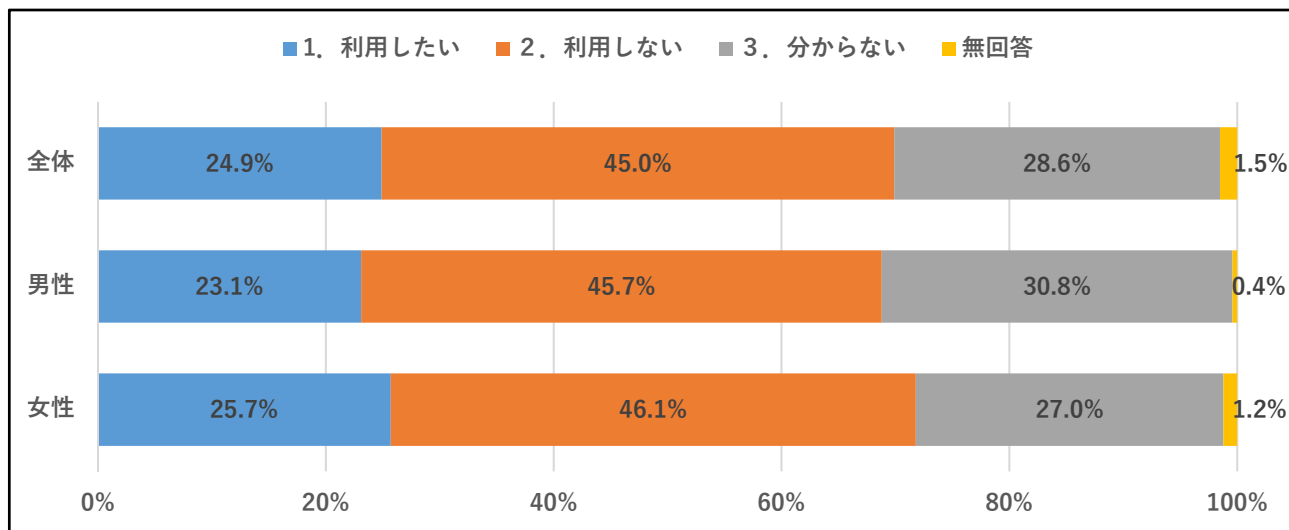
設問 4 ① 市では、RIZAP 株式会社グループと健康づくりに関する連携協定を締結して、健康増進の取組みを進めています。あなたは、昨年度開催した RIZAP 健康セミナーを知っていましたか。



【分析概要】

- ▶ RIZAP 健康セミナーを知っていた割合は 39.9%で、知らなかった割合は 59.5%と、6 割近い方に周知が行き届いていなかったことが分かりました。年代別では 40 代の知っていた割合が 52.7%と半数を超えており、40 代の関心が高いことが分かりました。
- ▶ 知っていたが参加しなかった割合は 20%で、年代別では 40 代と 30 歳未満が多くなっています。
- ▶ 参加しなかった理由としては、「時間がない」と回答した方が最も多く、次いで「興味がない」、「魅力がない」と続きました。

設問 4 ② あなたは、常時利用できる有料会員制のスポーツジムが市内にあった場合、利用しますか。
(月額 3,000 円程度)



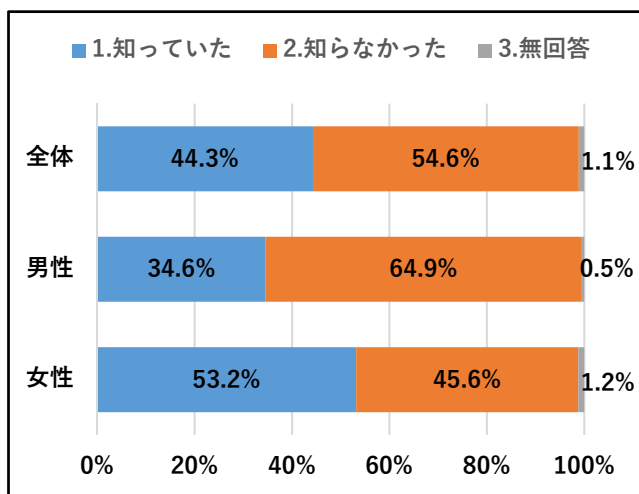
【分析概要】

- ▶ スポーツジムの利用については、「利用したい」が 24.9%、「利用しない」「分からない」が 73.6%でした。
- ▶ 「利用したい」方について、年代別では 40 代と 50 代が 32% 台と、最も割合の多い年齢層となりました。
- ▶ 利用しない理由としては、「興味がない・必要と思わない」「費用が高い」が多く、50 代以上では、「費用が高い」よりも「興味がない・必要と思わない」方の割合が多くなっています。

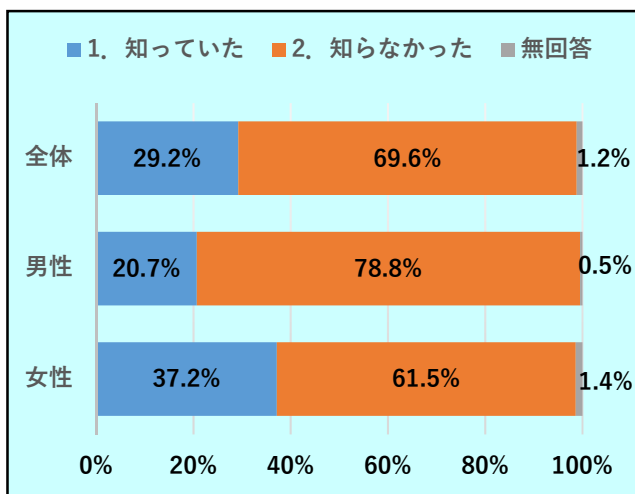
4 医療相談が受けられる環境づくりについて

設問5 「テレフォン病院24事業」を行っています、あなたは知っていましたか。

R6 市民アンケート結果



(参考) R4 市民アンケート結果



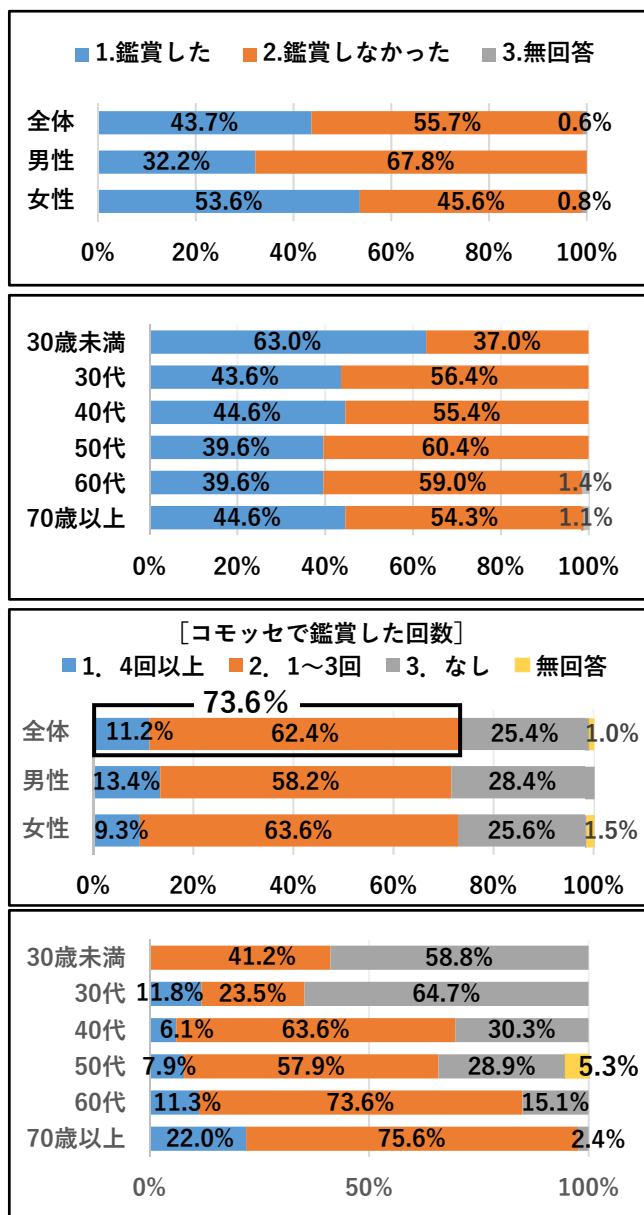
【分析概要】

- ▶「テレフォン病院24」事業を知っていた人の割合は44.3%で、令和4年度に実施した前回調査(29.2%)よりも15.1ポイント増加しています。
- ▶男女比では、女性が53.2%と男性の34.6%より18.6ポイント高くなっているほか、男女とも前回調査よりも増加しました。
- ▶年代別では、全ての年代で前回調査よりも増加していますが、30歳未満が22.2%と各年代の約半数となっています。
- ▶令和5年度に事業周知用のマグネットシートを全戸配付したことにより、相談件数・入電件数ともに増加したことから、チャットボット（AIを活用した自動会話プログラム）による乳幼児の育児・健康相談や、ウェブ健康相談などについても紹介しながら、最も認知度が低い若年層を中心に事業のメリットと利用について周知していく必要があります。

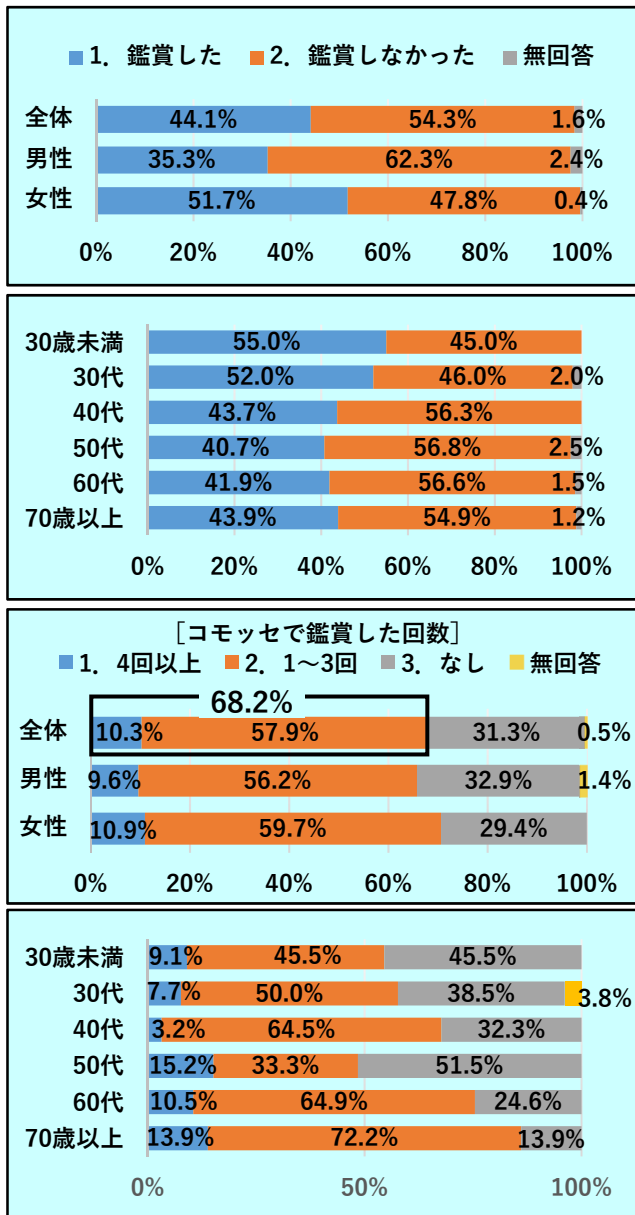
5 芸術鑑賞について

設問6 あなたは、昨年度1年間に市内外で文化芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等）をしましたか。また、コモッセで鑑賞したものは何回ありましたか。

R6 市民アンケート結果



(参考) R5 市民アンケート結果



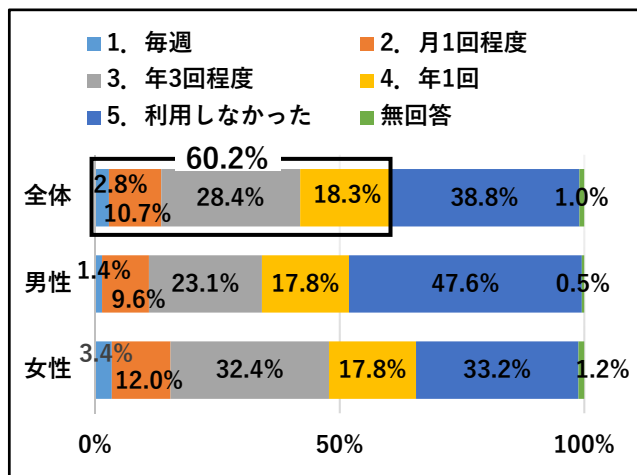
【分析概要】

- ▶ 芸術鑑賞をした人の割合は全体で 43.7% となり、昨年度より 0.4 ポイント減少しました。男女別では女性が昨年度より 1.9 ポイント増加し、男性は 3.1 ポイント減少しました。
- ▶ 芸術鑑賞した人のうちコモッセで鑑賞した人は 73.6% で、昨年度より 5.3 ポイント増加しました。男女別では女性が昨年度より 2.3 ポイント、男性は 5.8 ポイントそれぞれ増加しました。
- ▶ 年代別では 30 歳未満が 41.2% で昨年度より 13.4 ポイント減少し、30 代は 35.3% で昨年度より 22.4 ポイント減少しました。若い世代が関心を寄せる内容も検討する必要があります。
- ▶ コモッセでの鑑賞は、事業数とジャンルの選択に配慮し、様々な世代が市内で質の高い芸術に触れる機会を得られるよう事業を進める必要があります。

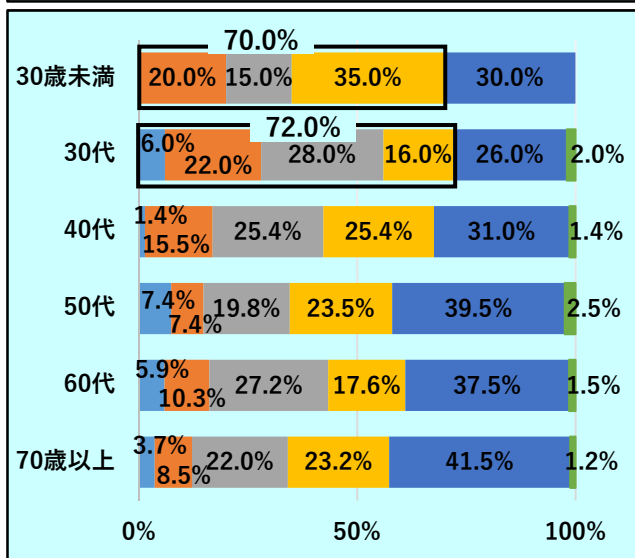
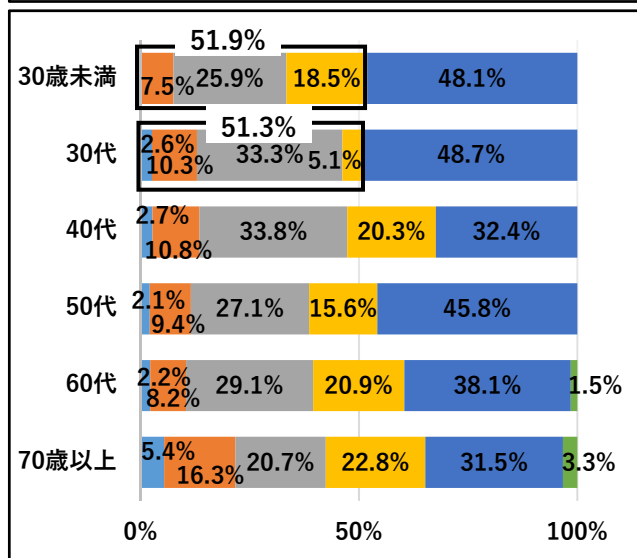
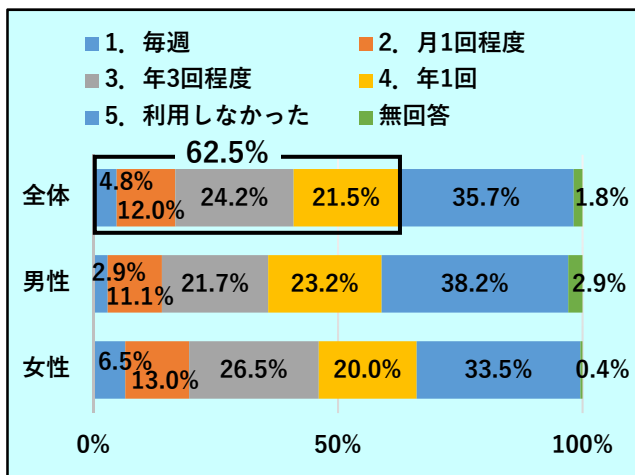
6 コモッセの利用状況について

設問7 あなたは、昨年度1年間にコモッセをどれくらい利用しましたか。

R6 市民アンケート結果



(参考) R5 市民アンケート結果

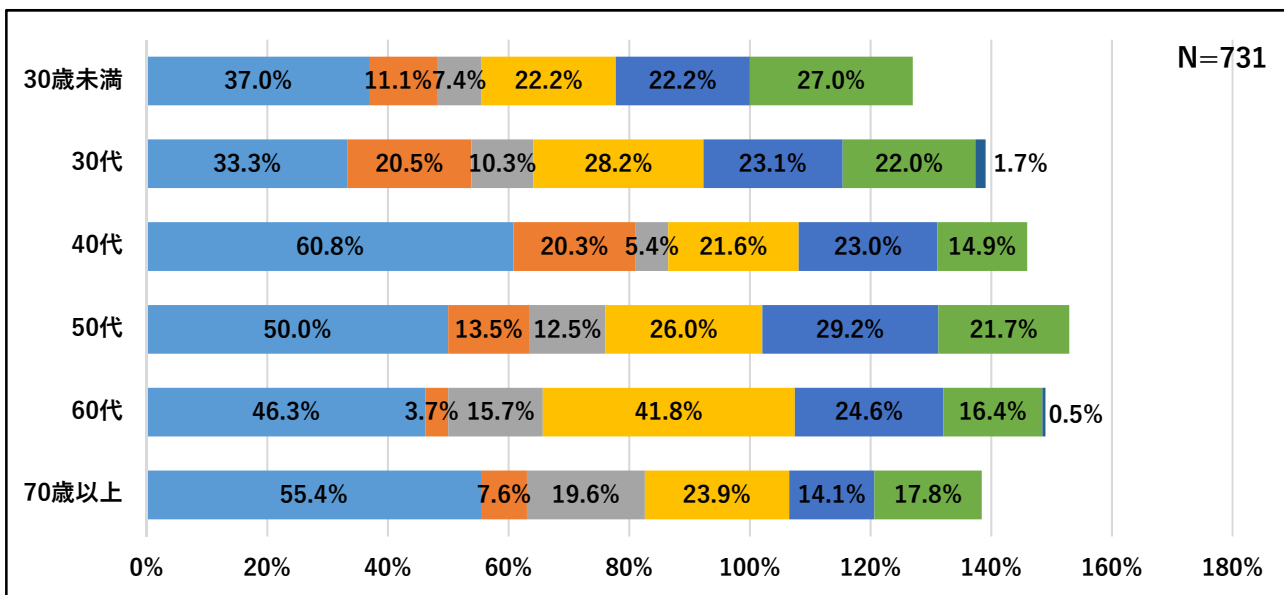
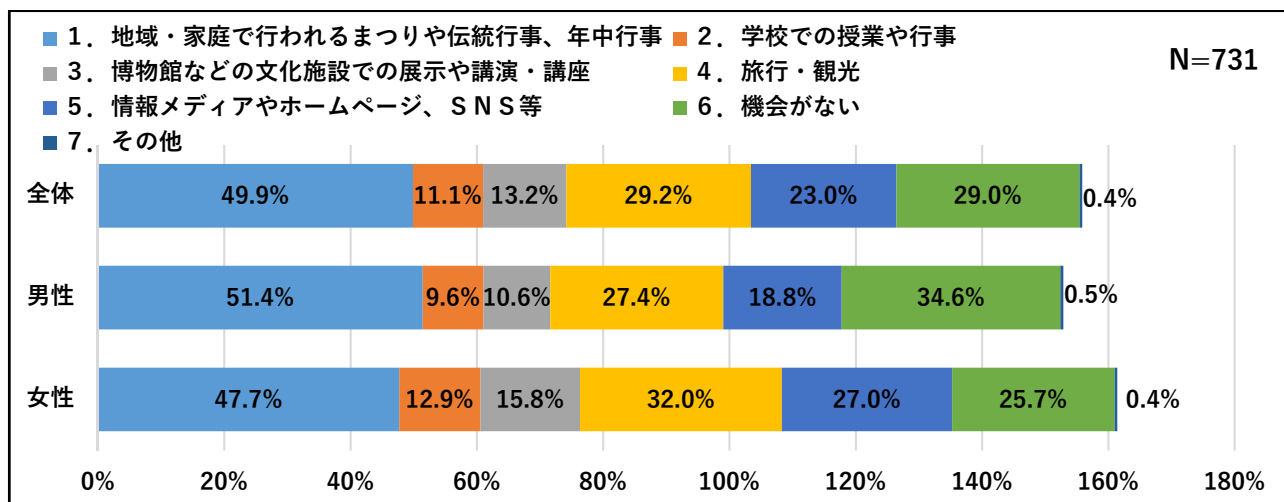


【分析概要】

- ▶ コモッセを利用した人は全体で 60.2% となり、昨年度より 2.3 ポイント減少しました。
- ▶ 男女別では女性の方が多く利用しています。男性は昨年度より 7.0 ポイント減少し、コロナ禍以前の割合とほぼ同じでした。
- ▶ 年代別では 30 歳未満が 18.1 ポイント、30 代が 20.7 ポイントそれぞれ減少し、50% 台に落ち込んだことから、若者世代や子育て世代の利用を促していく必要があります。
- ▶ 利用回数は、すべての区分で年 3 回程度が多く、定期的な利用があることが見てとれます。

7 文化財等について

設問 8 ① 市では、小坂町と共に文化財の保存と活用を進めています。日常生活の中で文化財・歴史文化・文化遺産に接する機会がありますか。(複数回答可)



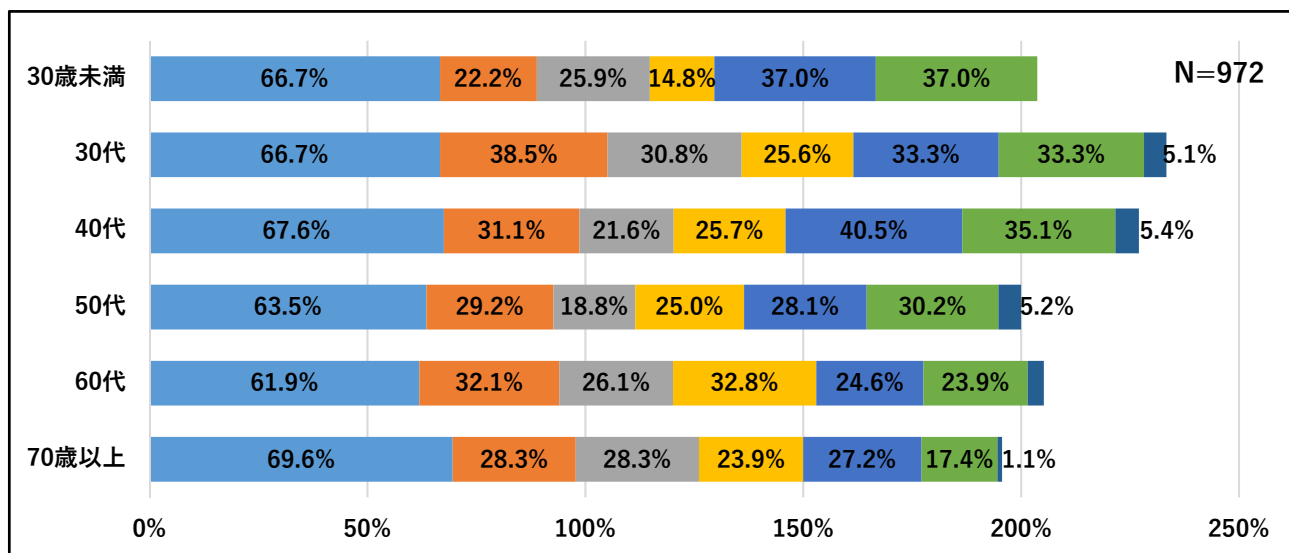
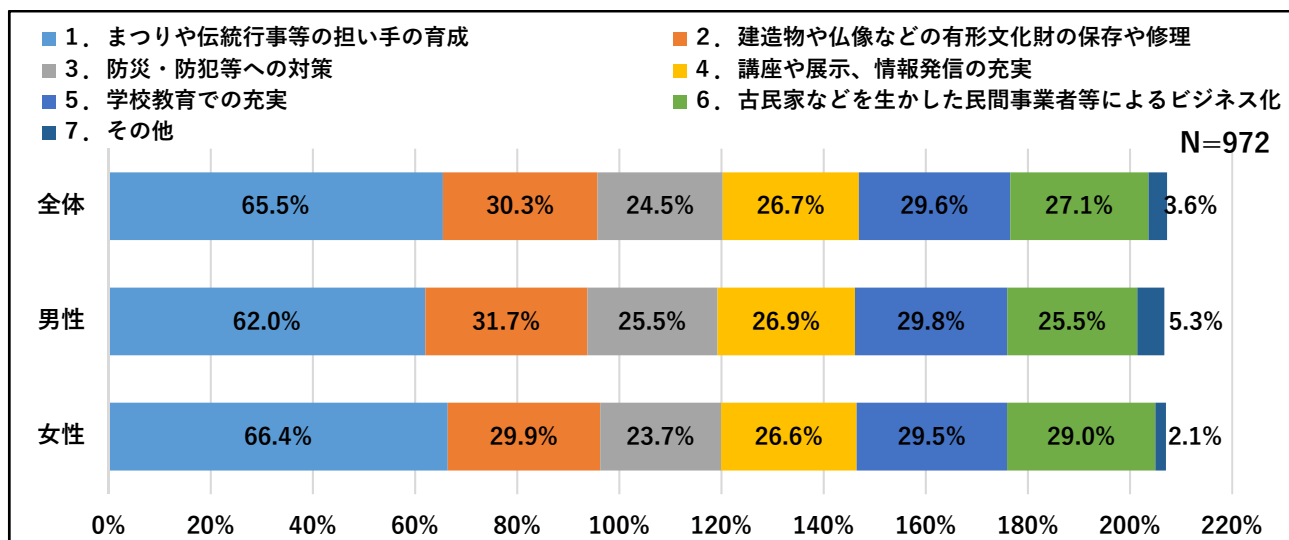
【分析概要】

▶ 日常生活の中で文化財等に接する機会では、「地域や家庭で行われるまつりや伝統行事、年中行事」が49.9%、「旅行や観光」が29.2%と直接に接する機会が多い一方で、「情報メディアやホームページ、SNS等」が23.0%と間接的に触れる機会が少ないことが分かります。また、「学校での授業や行事」で接している方は11.1%、「機会がない」という方は29.0%でした。

▶ 接する機会が最も多かった「まつりや伝統行事等」については、地区でのばらつきは見られませんが、年代別では、30歳未満と30代の若年層が他の年代に比べて低い結果となりました。

▶ 若年層が、文化財等に直接又は間接的に広く接してもらう機会を増やすために、まつりや伝統行事等に参加しやすい仕組みづくりや、学校と連携した取組み、SNS等を使った市内外への積極的な情報発信を進めていく必要があります。

設問 8 ② 市にある文化財・歴史文化・文化遺産の保存活用を進める上で力を入れるべきだと思う取組みは何ですか。(複数回答可)



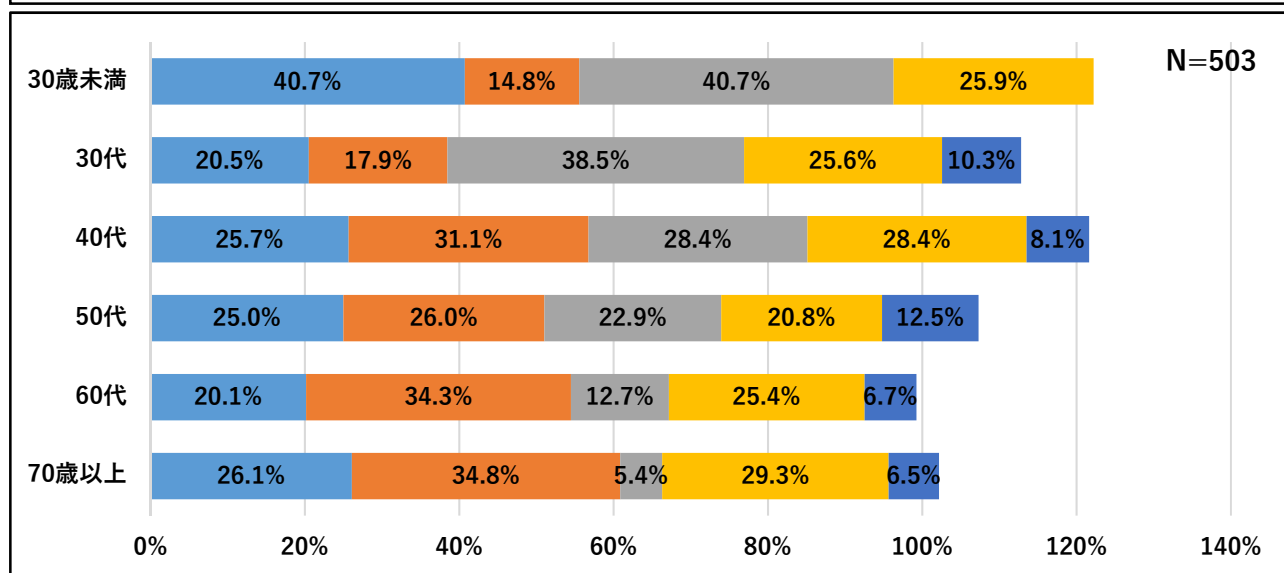
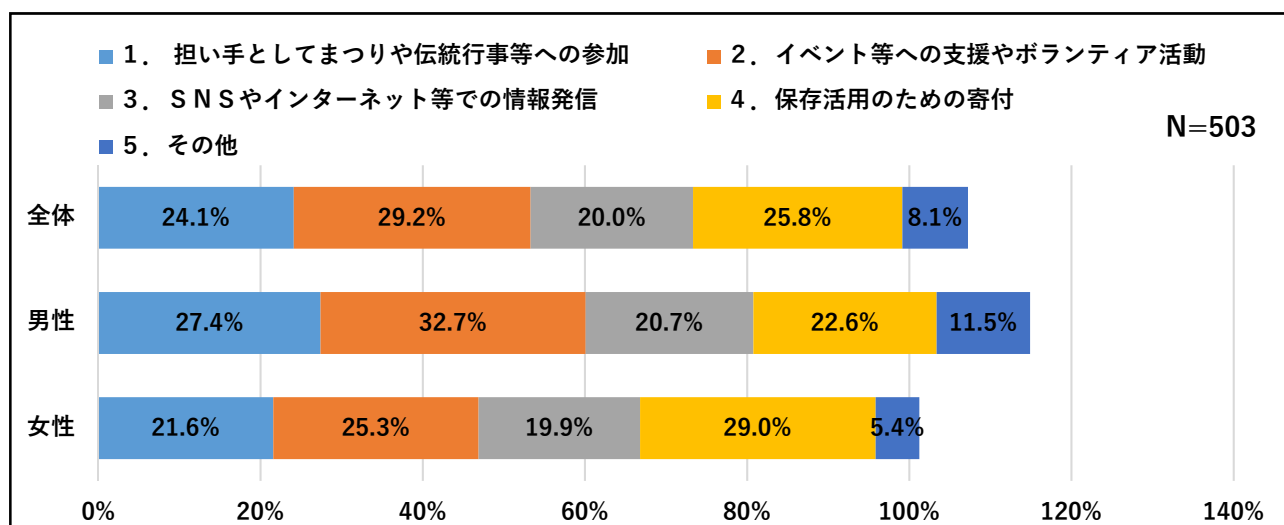
【分析概要】

▶文化財等の保存活用を進める上で力を入れるべきだと思う取組みでは、「まつりや伝統行事等の担い手の育成」がすべての地区、年代で 60%以上でした。次いで「建造物や仏像などの有形文化財の保存や修理」が 30.3%、「学校教育での充実」が 29.6%、「古民家などを生かした民間事業者等によるビジネス化」が 27.1%でした。

▶このことから、地域のまつりや伝統行事の継承に欠かせない担い手の育成が全世代共通の強い関心であり、担い手育成対策が急務であることが分かりました。

▶また、建造物等の文化財の保存や修理、活用につながる取組みや、将来の担い手確保につながる「学校教育での充実」を図っていく必要があります。

設問 8 ③ どのような取組みであれば自分でも協力できると思いますか。(複数回答可)



【分析概要】

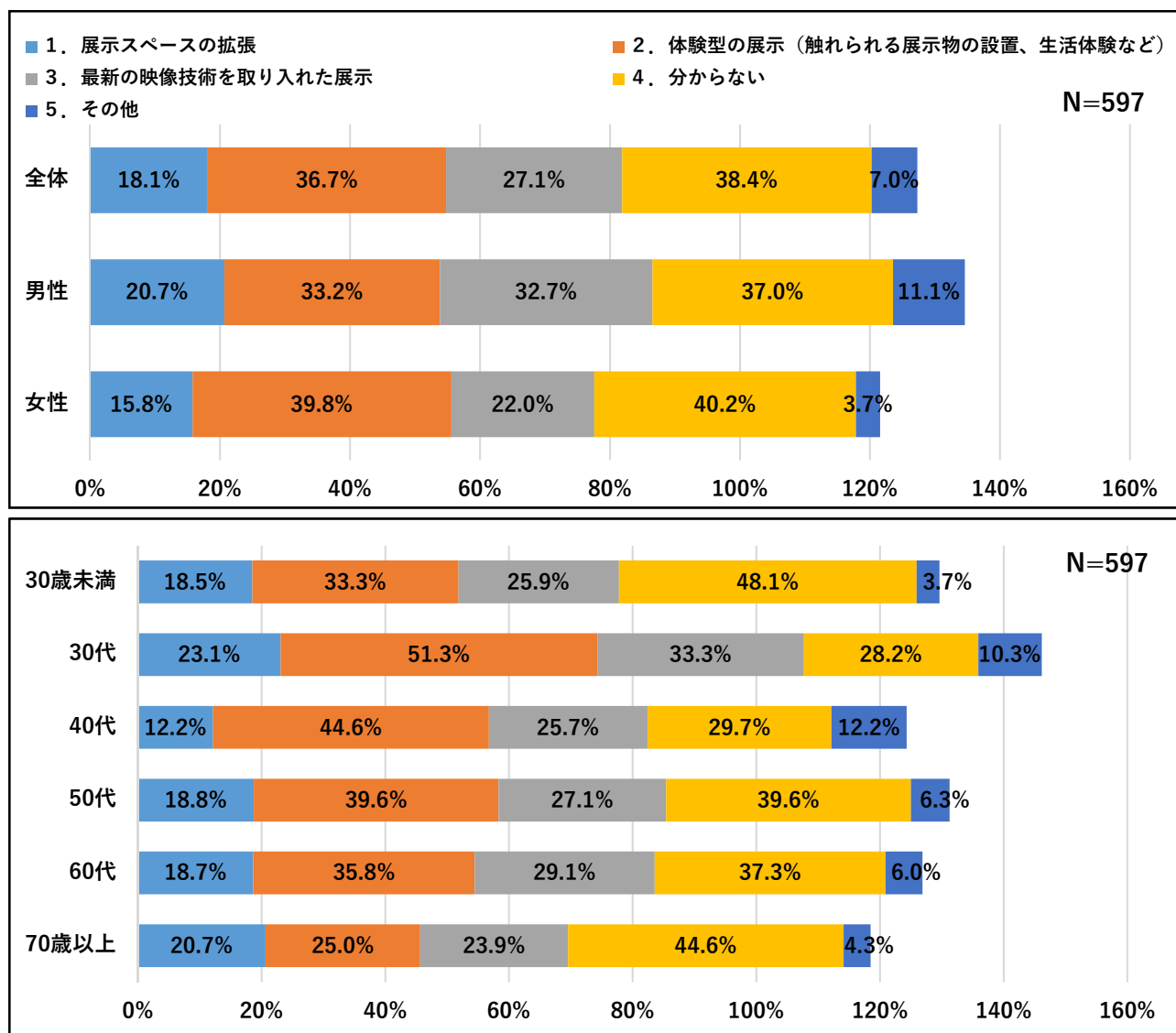
▶自分でも協力できる取組みでは、「イベント等への支援やボランティア活動」が 29.2%、「保存活用のための寄付」が 25.8%、「担い手としてまつりや伝統行事等への参加」が 24.1%、「SNS やインターネット等での情報発信」が 20.0%でした。

▶年代別では、「イベント等への支援やボランティア活動」については 30 代未満と 30 代の若年層が 10% 代であることに對し、40 代以降協力できると感じている割合が高くなっています。逆に、担い手としての参加や SNS 等での情報発信については 30 代未満がどちらも 40.7%と他の年代より高く、担い手としての参加や情報発信など自身の興味関心や気軽に取り組めることが協力のしやすさにつながっているものと考えられます。そのほか、保存活用のための寄付についてはすべての年代で 20%以上となっています。

▶このことから、ボランティアを含め、まつりや伝統行事に参加しやすい仕組みづくりや、クラウドファンディング等の手軽に寄付ができる取組みを進めていく必要があります。

8 大湯環状列石について

設問 9 大湯ストーンサークル館の展示に、どのような内容を期待しますか。(複数回答可)



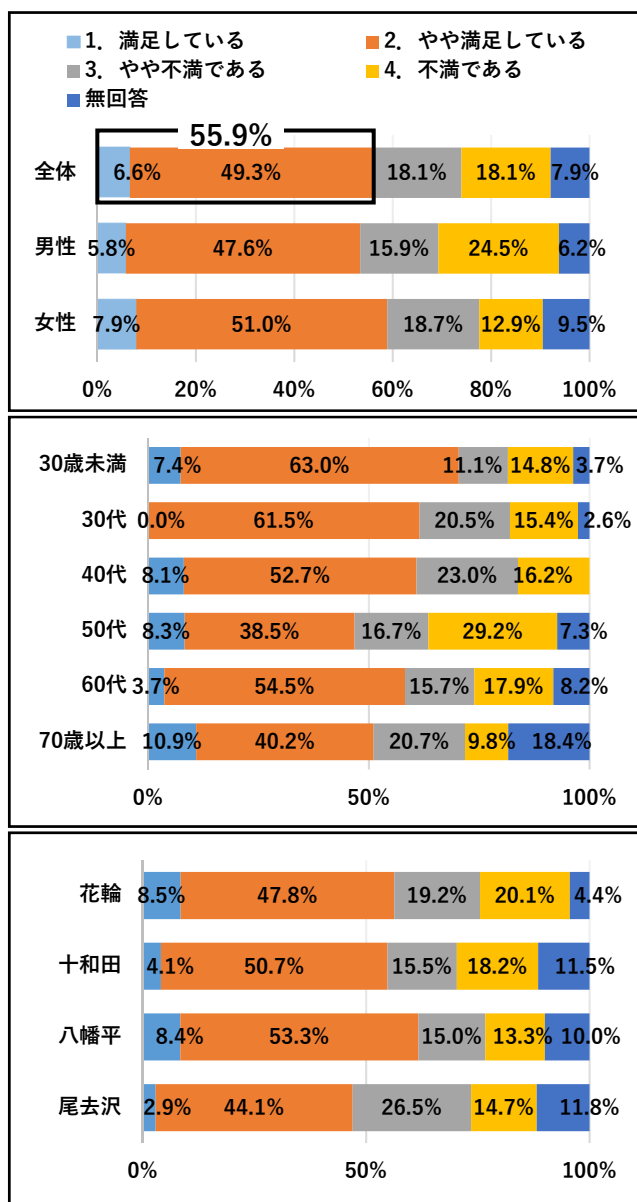
【分析概要】

- ▶ 「体験型の展示」を選択した方が全体で 36.7%と最も高くなりました。特に、女性の期待が高く、次いで、年代別では 30 代、40 代の年齢層のニーズが高い結果となりました。
- ▶ 「最新の映像技術を取り入れた展示」が、全体で 27.1%となり、女性 22.0%、男性 32.7%で、女性よりも男性の方が 10 ポイント以上高くなりました。
- ▶ 「展示スペースの拡張」の回答は、全体で 18.1%でした。女性よりも男性の関心が高いことがうかがえますが、相対的に見て期待はあまり高くありませんでした。

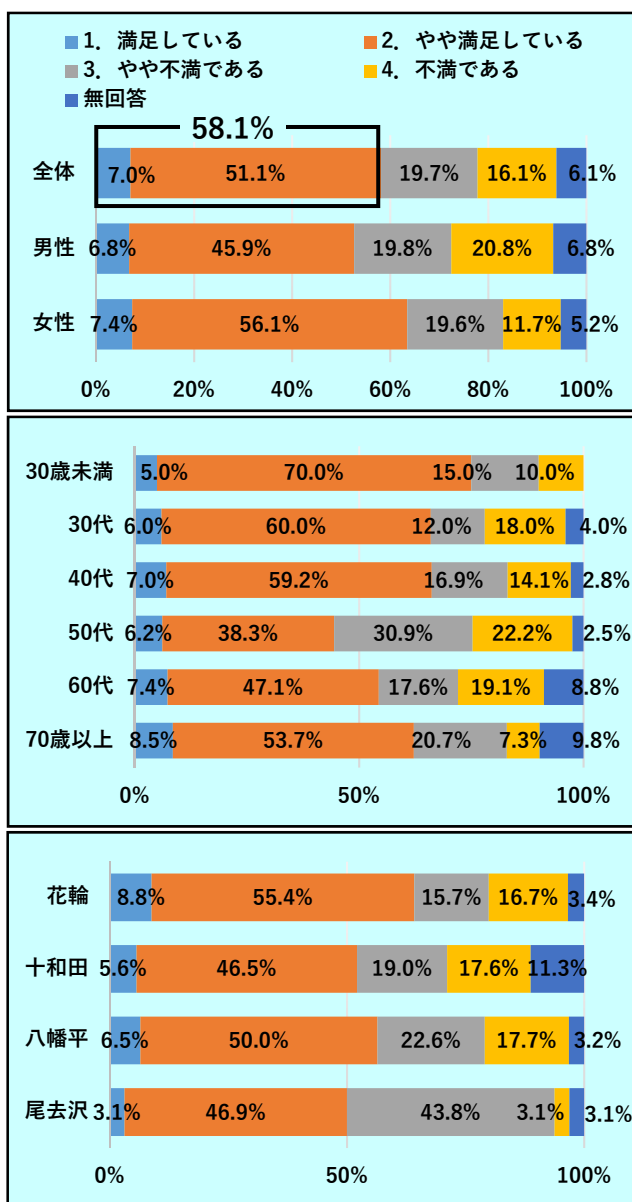
9 中心市街地について

設問 10 あなたは、中心市街地の生活環境（住みごこちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

R6 市民アンケート結果



(参考) R5 市民アンケート結果

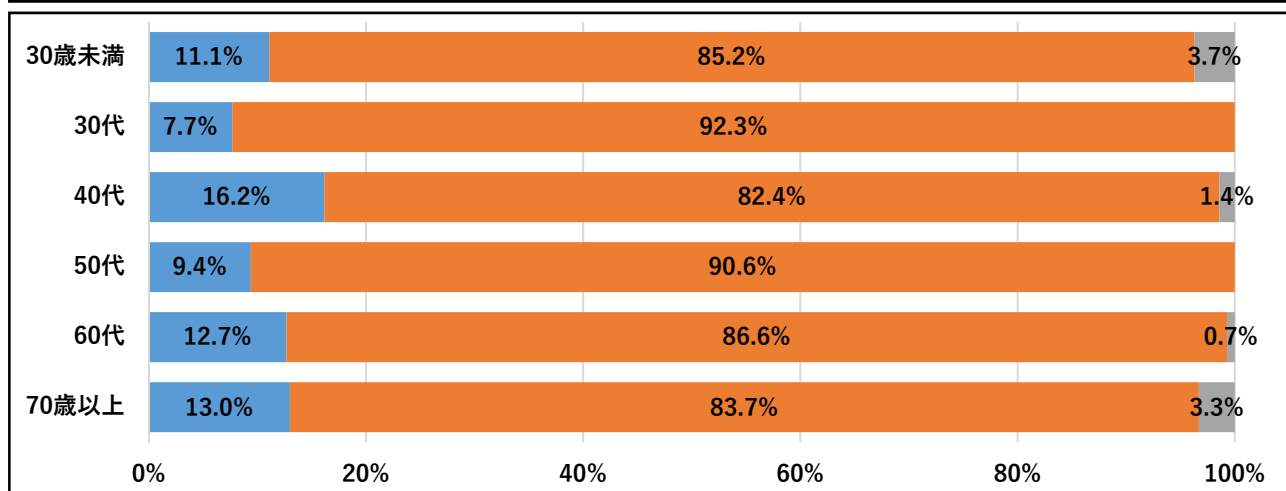
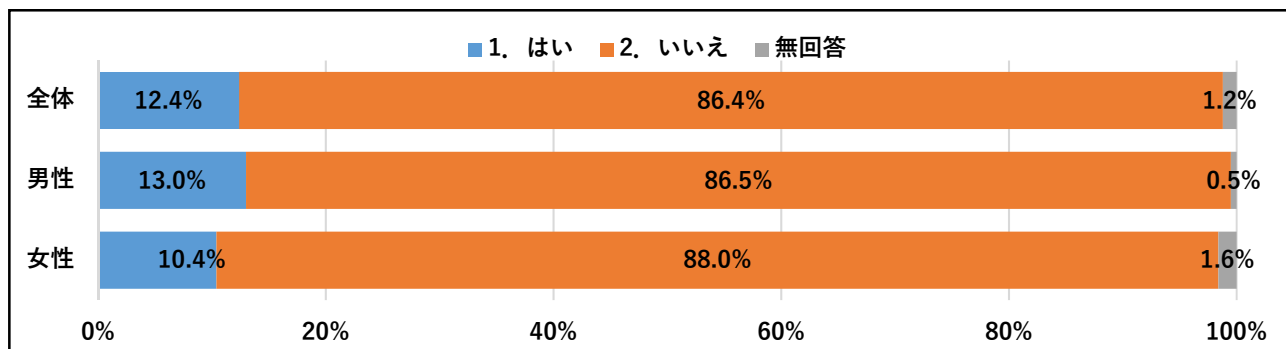


【分析概要】

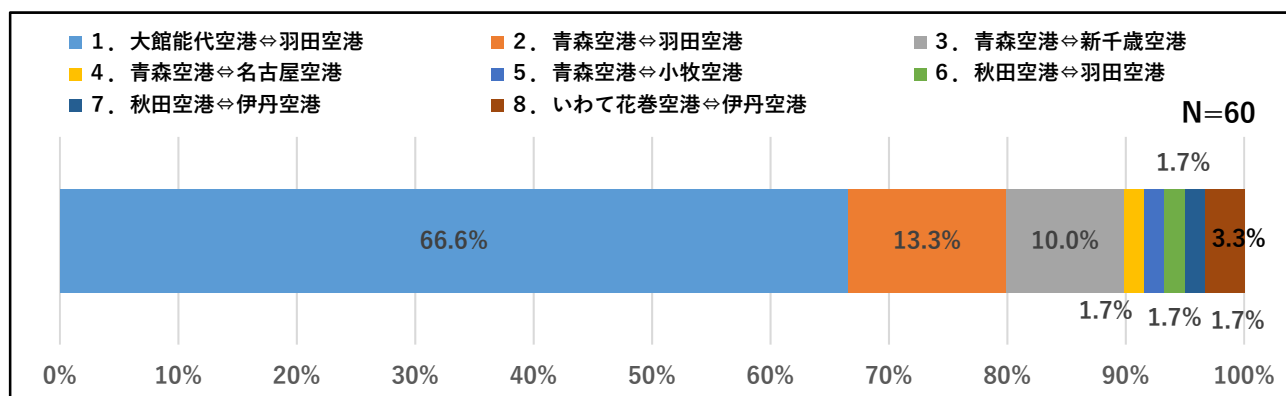
- ▶「満足」「やや満足」と回答した割合は55.9%で前年を2.2ポイント下回りました。
- ▶年代別では、30歳未満の満足度が70.4%と最も高く、30代、40代は昨年同様60%以上となっており、比較的若い方の満足度は高くなっています。
- ▶地区別では、八幡平地区の満足度が61.7%で最も高く、昨年度より5.2ポイント増加、十和田地区は2.7ポイント増加しました。一方で尾去沢地区は3.0ポイント減少し、花輪地区においては7.9ポイント減少しました。
- ▶不満とを感じる理由では、公共交通機関が不便であること、駐車場が少ないことが最も多く、次いで飲食店などの店舗の少なさから、活気がないことが挙げられています。

10 大館能代空港の利用について

設問 11① あなたは、昨年度（令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日）、空港を利用しましたか。



利用した空港



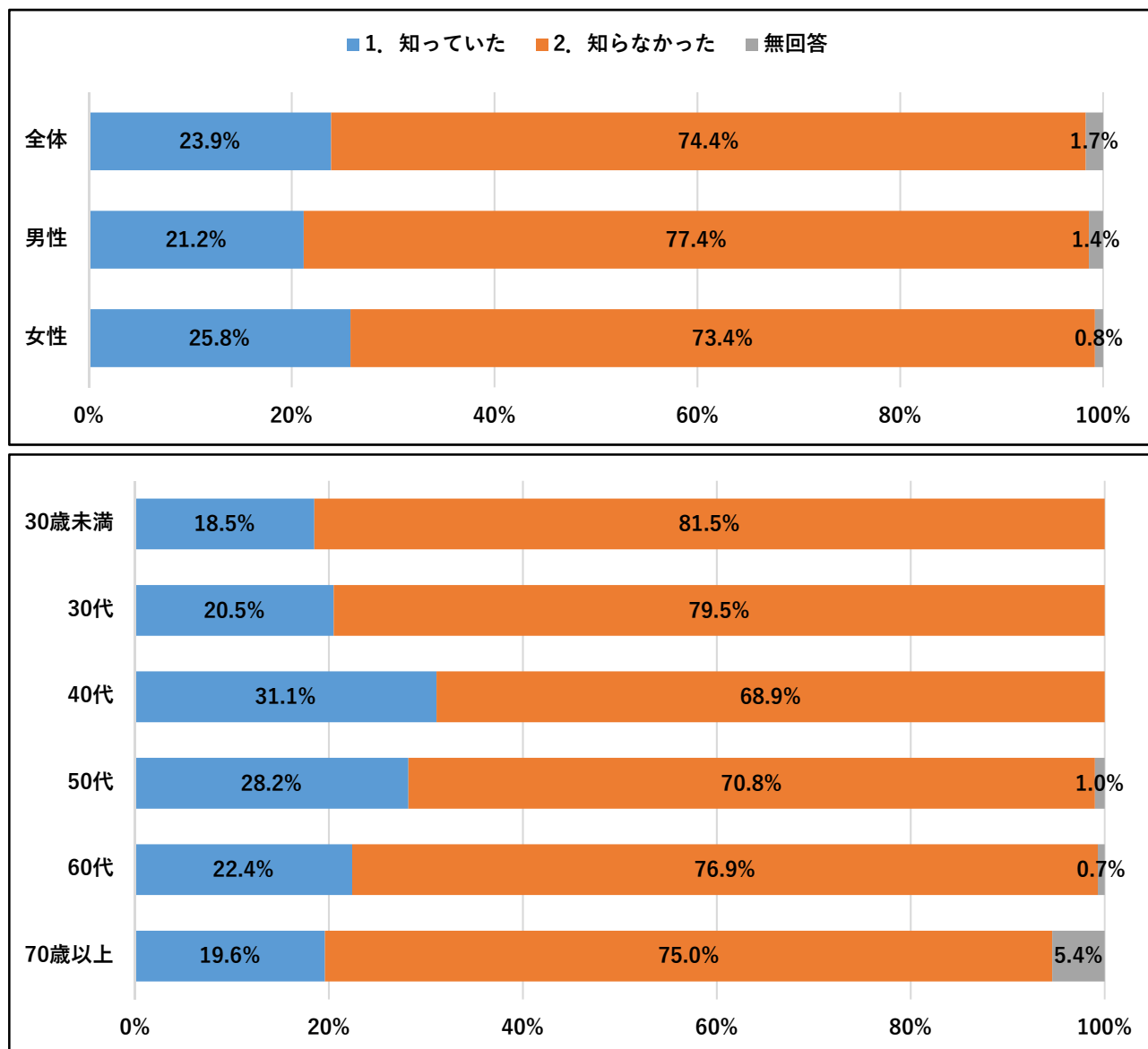
【分析概要】

▶ 昨年 1 年間に空港を利用した人の割合は 12.4% でした。利用者のうち 3 分の 2 が大館能代空港を利用しており、羽田空港行きの空路においては主に大館能代空港が選択されていることが分かりました。

▶ 男女別における利用者の偏りは見られませんでした。年代別にみると、40 代以上の利用が最も多い結果となりました。

▶ 空港を利用した人の全体数としては多くはないことから、大館能代空港の利便性のほか空港の利用方法も含め、引き続き、さらなる周知に努めていくことが必要です。

設問 11② 大館能代空港の利用促進を目的に、市民の方を対象に運賃助成（片道 5,000 円）をしています。あなたはこのことを知っていましたか。



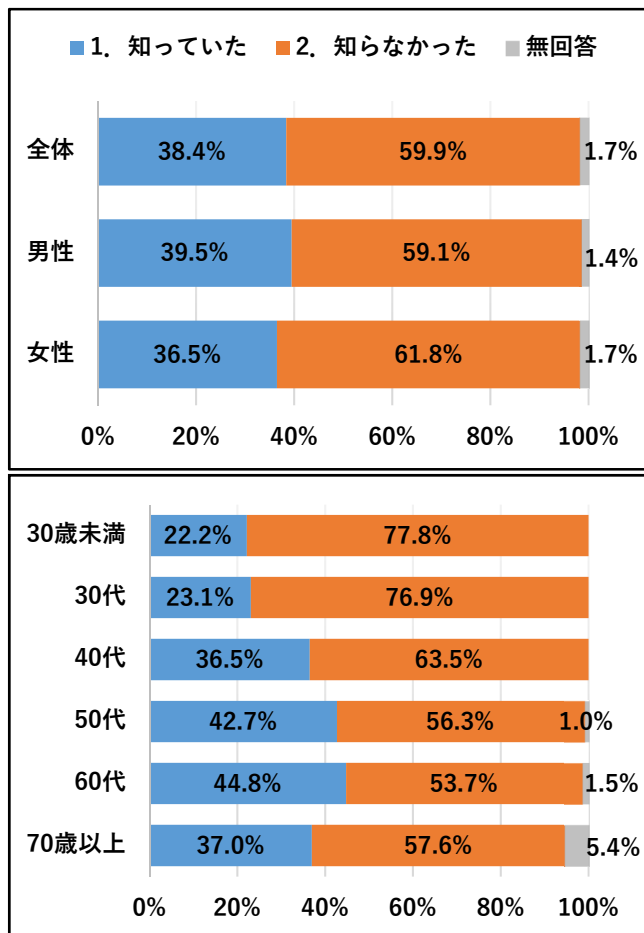
【分析概要】

- ▶ 運賃助成制度については、70%以上が知らなかったと回答しており、さらなる周知が必要です。
- ▶ 年代別にみると、知らなかったと回答した年代のうち 30 歳未満の比率が 81.5%と最も高くなっています。
- ▶ 制度の周知については、市広報紙のほかホームページを中心に行っていますが、30 歳未満や 30 代での認知度が比較的低いことを踏まえると、SNS等により空港利用のメリットも合わせながらさらなる周知を実施していく必要があると考えられます。

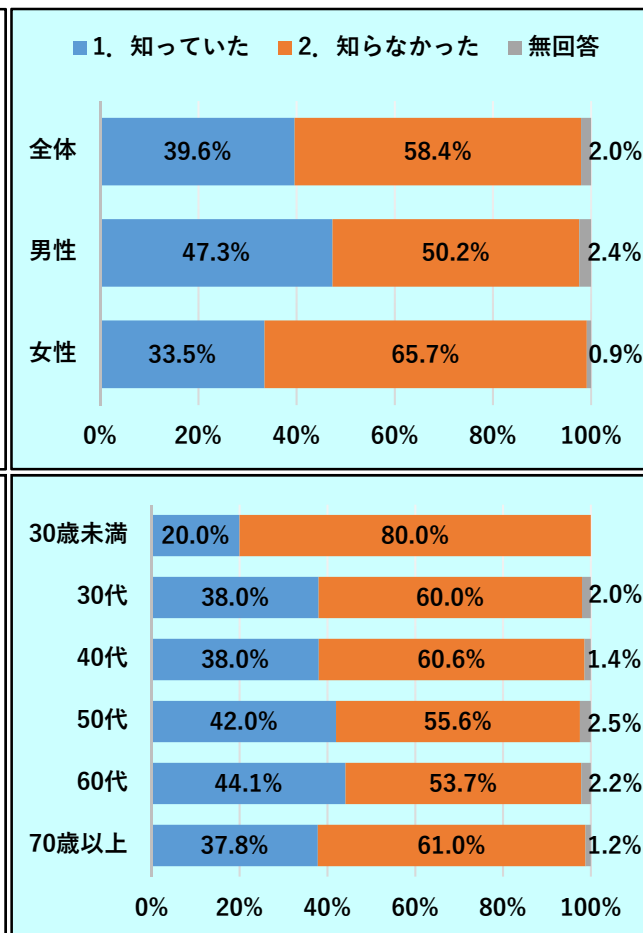
11 カーボンニュートラルについて

設問 12① 鹿角市では、令和4年3月に「鹿角市 2030 ゼロ・カーボンシティ宣言」を行い、日本全体の目標である2050年より20年早い、2030年のカーボンニュートラル実現を目指しています。このことを知っていましたか。

R6 市民アンケート結果



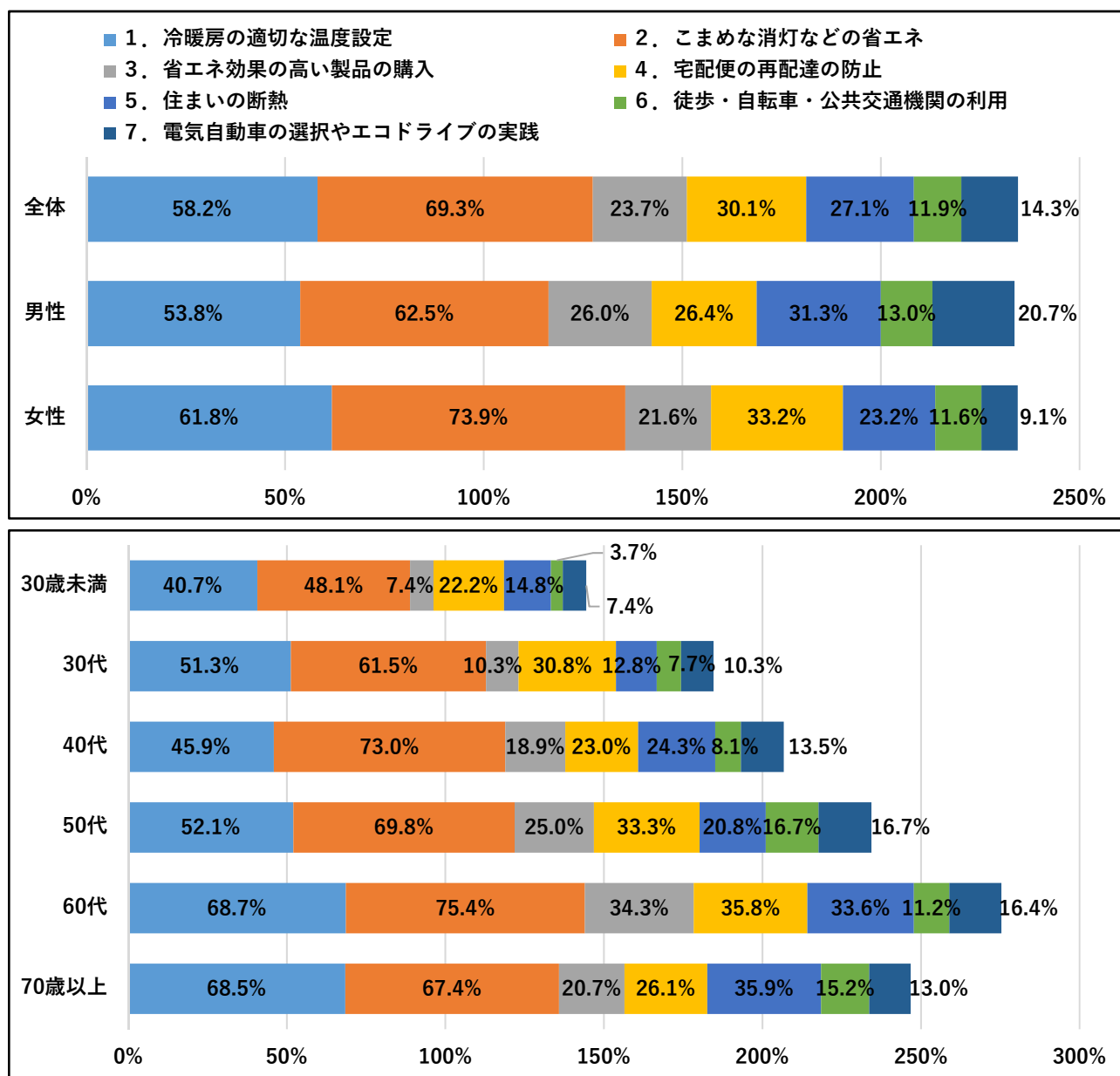
(参考) R5 市民アンケート結果



【分析概要】

- ▶「鹿角市 2030 ゼロ・カーボンシティ宣言」を知っている人の割合は38.4%であり、昨年度の39.6%と比べて1.2ポイントの減少となりました。
- ▶年代別で30歳未満の認知度は22.2%で、若年層の認知度が特に低い結果となりました。
- ▶昨年度のアンケートの分析で課題としていた女性の認知度は36.5%で昨年度より3ポイント改善しましたが、男性の認知度は39.5%で女性の認知度とほぼ同水準にとどまり、昨年度47.3%と比較し、7.8ポイント減少しています。
- ▶ゼロ・カーボンシティ実現のためには全市を挙げた取組みが重要であることから、若年層を中心に、さらなる意識醸成を図っていきます。

設問 12② カーボンニュートラルの実現に向け、日常生活で取り組んでいることは何かありますか。
(複数回答可)



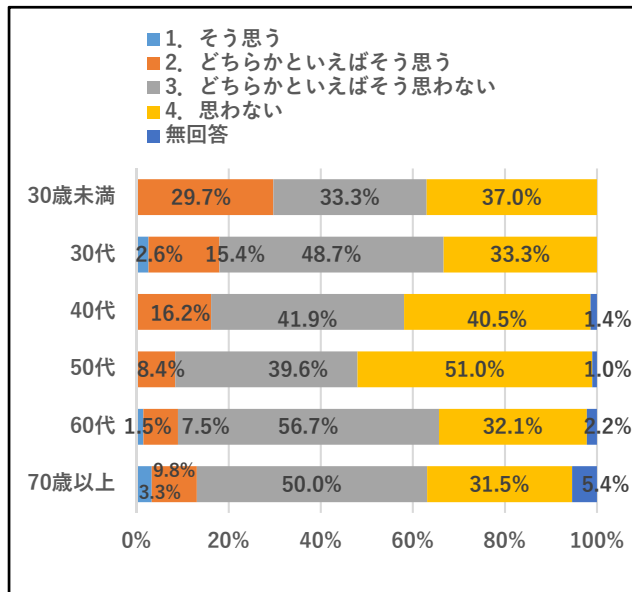
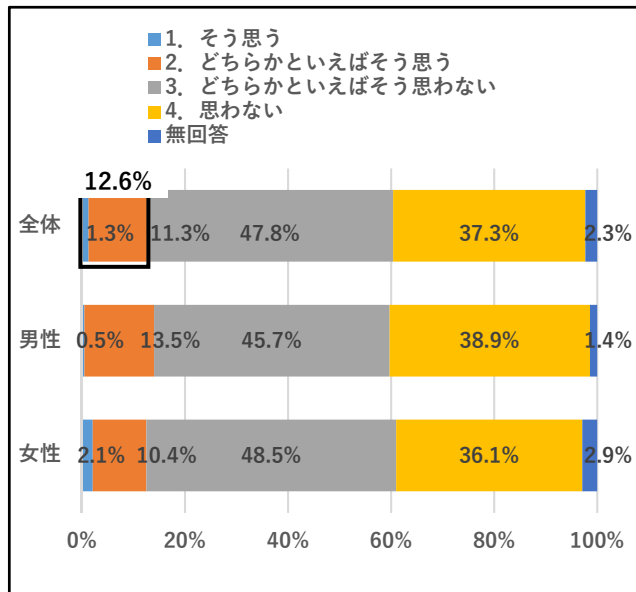
【分析概要】

▶全体で見ると、「冷暖房の適切な温度設定」は58.2%、「こまめな消灯などの省エネ」は69.3%と、自宅で簡単にできる取組みはおよそ半数が行っていることがわかりました。また、「省エネ効果の高い製品の購入」は23.7%、「住まいの断熱」は27.1%であり、投資が必要な取組率は低い結果でした。支援制度のある「住まいの断熱」は27.1%と一定程度みられ、「省エネ効果の高い製品の購入」よりも3.4ポイント取組率が高い結果となりました。

▶取組んでいる割合の高かった「冷暖房の適切な温度設定」は、30歳未満は40.7%であったのに対し、60代は68.7%が取組んでおり、また、「こまめな消灯などの省エネ」も各年代と比較し30歳未満が低いという結果となり、ゼロカーボンシティ宣言の認知度と同様に、若い世代へのアプローチが必要と考えています。

13 まちの満足度について

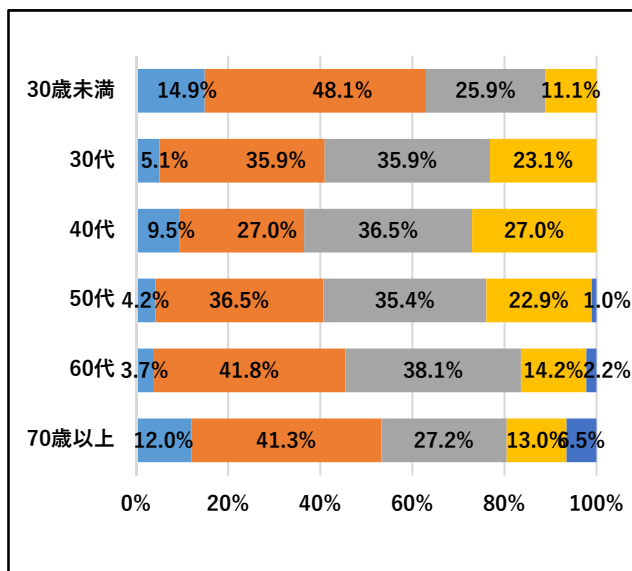
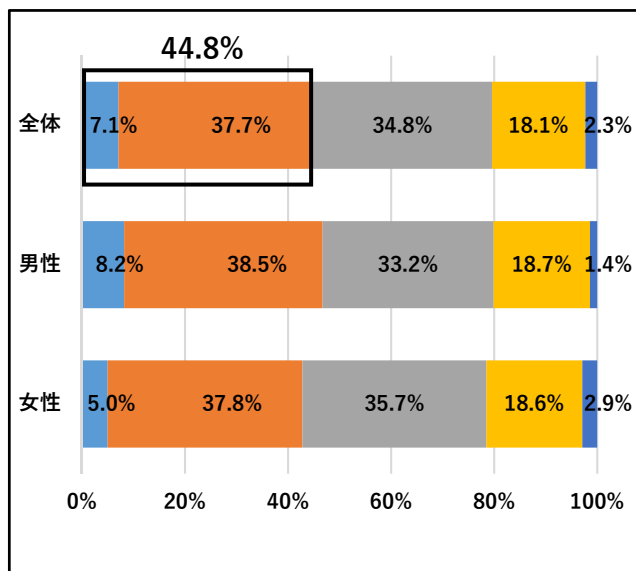
設問 13① あなたは、鹿角市の産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思いますか。



【分析概要】

- ▶ R1 基準値 (19.5%) より 6.9 ポイント減少。男性は 1.5 ポイント、女性は 11.4 ポイント減。
- ▶ 年代別では、昨年度に比べて 30 歳未満の割合が 9.7 ポイント増、30 代が 2 ポイント減、40 代が 3.5 ポイント減、50 代が 1.0 ポイント増、60 代が 4.2 ポイント減、70 歳以上が 4.6 ポイント増。

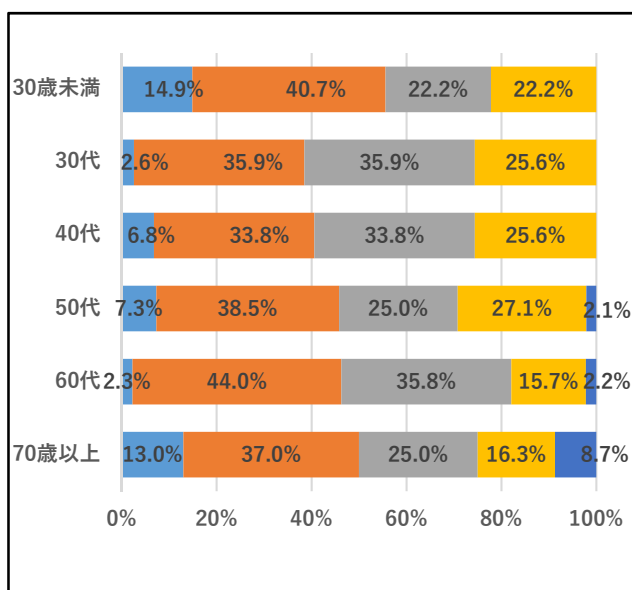
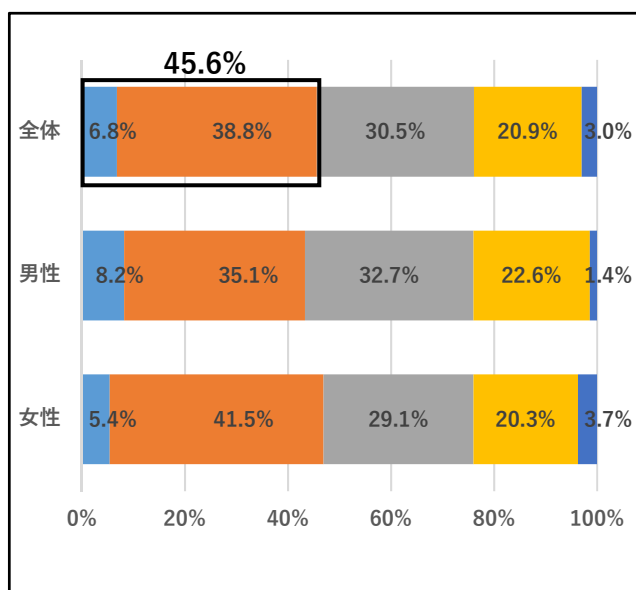
設問 13② あなたは、鹿角市が心身ともに健康な暮らしができるまちだと思いますか。



【分析概要】

- ▶ R1 基準値 (58.7%) より 13.9 ポイント減。男性は 9.1 ポイント、女性は 18.0 ポイント減。
- ▶ 年代別では、昨年度に比べて 30 歳未満の割合が 2 ポイント減、30 代の割合が 5 ポイント減、40 代の割合が 14.3 ポイント減、50 代の割合が 1.2 ポイント増、60 代の割合が 9.7 ポイント減。70 歳以上の割合が 3.3 ポイント増。

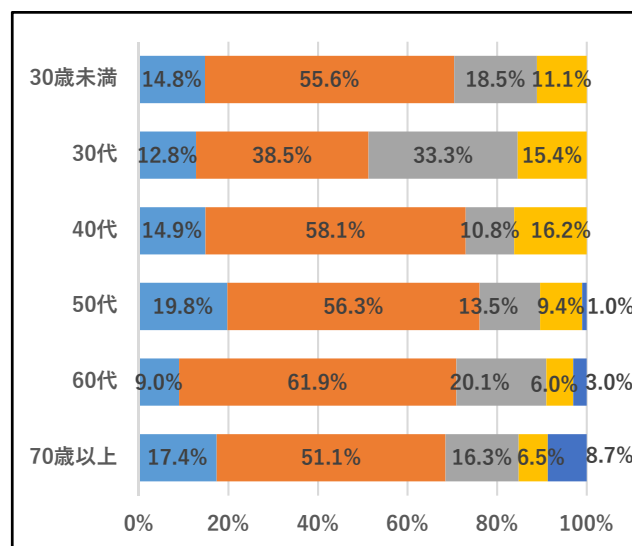
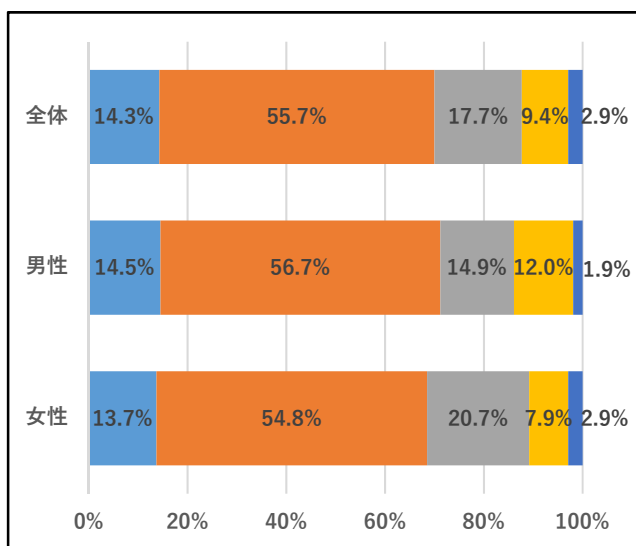
設問 13③ あなたは、鹿角市は生活環境が快適なまちだと思いますか。



【分析概要】

- ▶R1 基準値（49.7%）より 4.9 ポイント減。男性は 2.7 ポイント、女性は 5.6 ポイント減。
- ▶年代別では、昨年度に比べて 30 歳未満の割合が 10.6 ポイント増加、30 代の割合が 5.5 ポイント減、40 代の割合が 14.3 ポイント減、50 代の割合が 7.5 ポイント増、60 代の割合が 0.1 ポイント減、70 歳以上の割合が 1.2 ポイント減。

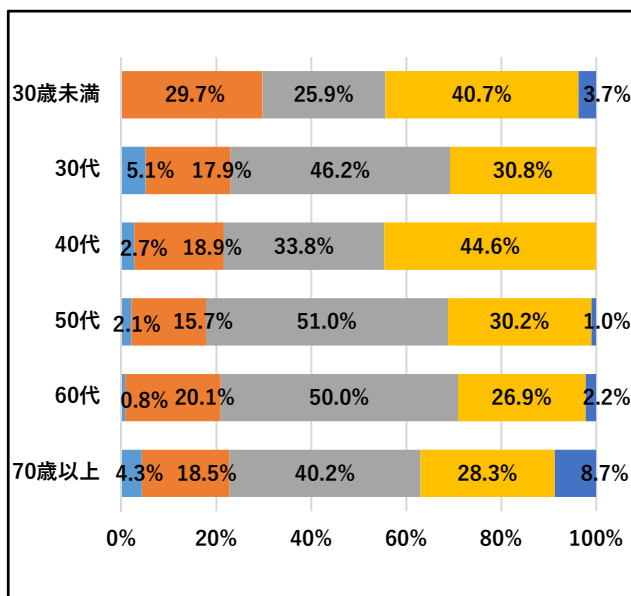
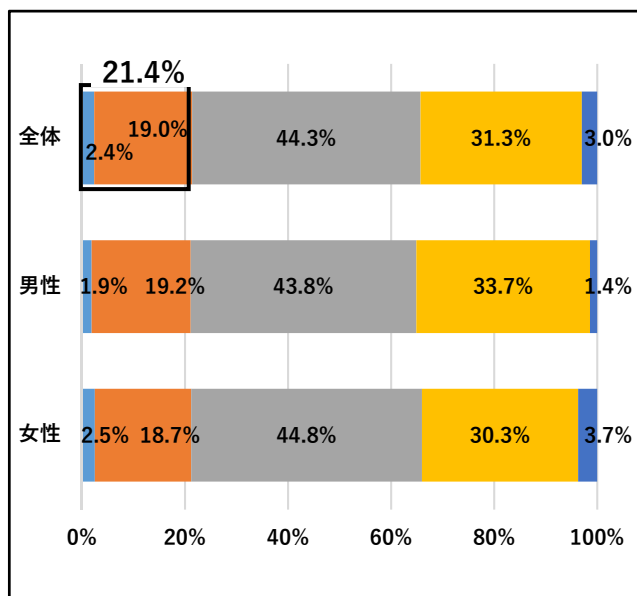
設問 13④ あなたは、鹿角市が安全で安心して暮らせるまちだと思いますか。



【分析概要】

- ▶R1 基準値（77.6%）より 7.6 ポイント減。男性は 6.7 ポイント、女性は 9.8 ポイント減。
- ▶年代別では、昨年度と比べ 30 歳未満が 19.6 ポイント減、30 代が 22.7 ポイント減、40 代が 8.6 ポイント減。50 代が 3.3 ポイント増、60 代が 1.9 ポイント減、70 歳以上が 1 ポイント減。

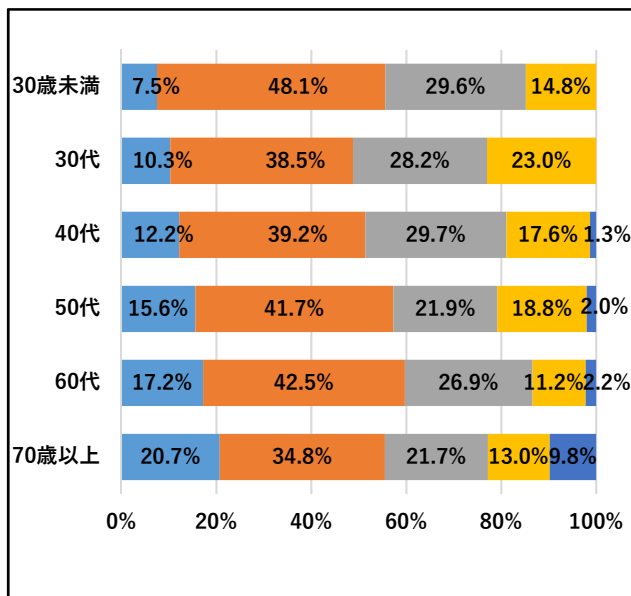
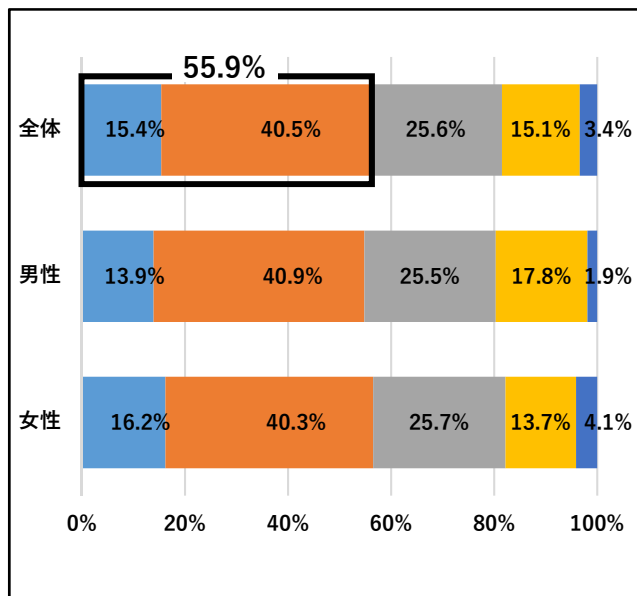
設問 13⑤ あなたは、鹿角市が市外から人が訪れたいくなる魅力のあるまちだと思いますか。



【分析概要】

- ▶ R1 基準値（23.4%）より 2.0 ポイント減少。男性は 2.8 ポイント減、女性は 1.2 ポイント減。
- ▶ 年代別では、昨年度に比べて 30 代未満が 4.9 ポイント増、30 代が 2 ポイント減、40 代が 12.2 ポイント減、50 代が 3.2 ポイント減、60 代が 5.5 ポイント増、70 歳以上が 4 ポイント減。

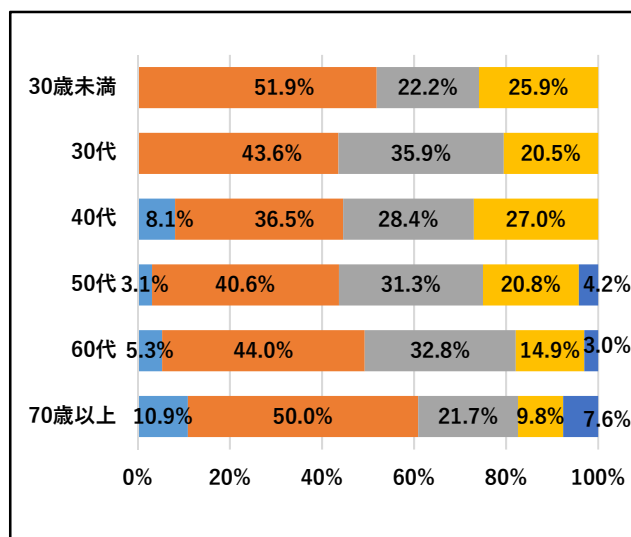
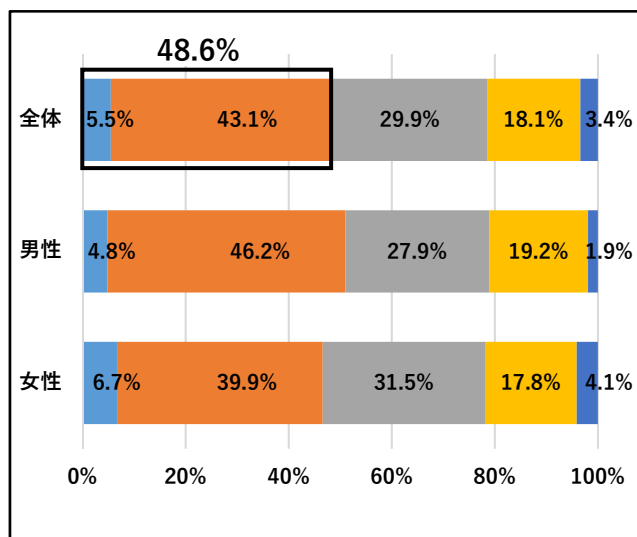
設問 13⑥ あなたは、鹿角市は文化遺産が豊富で誇れるまちであると思いますか。



【分析概要】

- ▶ R1 基準値（51.3%）より 4.6 ポイント増加。男性は 0.5 ポイント減、女性は 8.6 ポイント増。
- ▶ 年代別では、昨年度に比べて、30 歳未満が 0.6 ポイント増、30 代が 13.2 ポイント減、40 代が 19 ポイント減、50 代が 4.2 ポイント増、60 代が 2.4 ポイント増、70 歳以上が 3.1 ポイント減。

設問 13⑦ あなたは、自分に必要な行政サービスが受けられていると思いますか。



【分析概要】

- ▶ R1 基準値 (59.8%) より 11.2 ポイント減少。男性は 11.4 ポイント、女性は 11.2 ポイント減。
- ▶ 年代別では、昨年度に比べて、30 歳未満が 13.1 ポイント減、30 代が 4.4 ポイント減、40 代が 13.1 ポイント減、50 代は 2 ポイント減、60 代が 3 ポイント増、70 歳以上が 10.9 ポイント増。